

藤垣草

五水邊

和書門		
一八六〇一號類	一七三函	一〇冊

内閣文庫		
和書	一八六〇一號類	一〇冊
二〇二函	八架	

内閣文庫		
番號	和	18601
冊數	10	(3)
函號	202	177



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

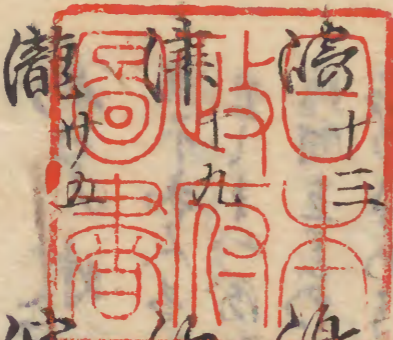


綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり

藻草字彙目録

水邊

儀七	渚八	濱九	汀十	瀉十一	洲十二
水一	川二	河系三	湖四	海五	浦六
瀉十三	海十四	岸十五	江十六	瀨十七	沖十八
瀨十九	泊廿	門廿一	灘廿二	洲廿三	瀨廿四
瀨廿五	渡廿六	渡廿七	沼廿八	澤廿九	池卅
堤卅一	海卅二	井卅三	温泉卅四	橋卅五	浪卅六
淡卅七	冰卅八	柵卅九	溪標四十	橋卅一	



淺草文庫

花廼家文庫

藻塩草一巻第五

水邊部

○水 一日の系

あす水 天 春一

一ぬらむ もや わつ一

立毛白とらつづのその
あそむをいさする水や露

由不初んを正月元日おこすまらね中やひうりやち板屋社行としまら朔日一り
そしまつあとも若氷とすなうり連しままふるくらあそ松小中春之始ゆ
た何ままおもああそ今日のひまらめと宣言まけ連す候お○山一山
あうとあそこら一いつあまの水も結やあせのそ一めたるらん

下一 山下一けく新水又山下
とらまを移あそつてり 山の井の一 あそ きき き 一 あそ 一 あそ 一 あそ 一 あそ 一 あそ 一

ろ、たふれ も 一 たふの も 一 下 も 一 山 も 一 北 も 一 岸 も 一

たふれ も 一 埋 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一

志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一

の志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一

間の一 岩井伊一
又石間の水共 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一

澤一 田一 苗代一 さ も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一

間一 菱一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一

一 此 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一

一 此 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一

一 此 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一

一 此 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一

一 此 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一

一 此 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一

一 此 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一 一 志 も 一

水あり 小石よりの
りり ちのわのー ぢぢー 細ー ぬれー

いぬー 水と書きて西の海町はよあるみ
つくとし又とやるの神とす おたろー

新六 ち みれまろー みかろと落ー ぬろふー 水と書きた
る

と 新六 ぬー ぬーの字なり
てぬーぬーの字なり とー

かー 波の 三井のえふー 波の
敷 一ろく

く 伊なり 泉をむ 心の泉 わくわく
伊なり 水のす泉

松乃 根おちら 泉玉の泉ー ひととびをひ

ぬー 油ひりてと
ハ油とひ

ひ 社及び
水とす

注 社及び
水とす

とみ とみも神のつ
ぬと作らぬ

ぬ ぬと作らぬ
ぬと作らぬ

ぬ ぬと作らぬ
ぬと作らぬ

新六 ぬ ぬと作らぬ
ぬと作らぬ

ぬ ぬと作らぬ
ぬと作らぬ

ぬ ぬと作らぬ
ぬと作らぬ

ぬ ぬと作らぬ
ぬと作らぬ

ぬ ぬと作らぬ
ぬと作らぬ

ぬ ぬと作らぬ
ぬと作らぬ

ぬ ぬと作らぬ
ぬと作らぬ

水の原之邊 **みわ** 水のたもとなる **あし** 水より入て也

るのたか **くも志** 水あそく **海** 水より入て也 **あま** 水より入て也

又とせき伊路く水と云共より **志** 志と云 **し** 志と云

真清水共ら又益原あせ事 **あ** 水より入て也 **あ** 水より入て也

○あこもるひさ川ゆもり初あれりつらやむさやいあさむむさやいあさむむさやいあさむ

むさやいあさむむさやいあさむむさやいあさむむさやいあさむむさやいあさむ

文字と書きた **みれ** うもゆりあの **庭** 庭より入て也 **庭** 庭より入て也

あつらん庭堪草ゆへくもる穴花乃夕暮あまの五月 **手向** 七月十五

あつらん庭堪草ゆへくもる穴花乃夕暮あまの五月 **手向** 七月十五

あつらん庭堪草ゆへくもる穴花乃夕暮あまの五月 **手向** 七月十五

あつらん庭堪草ゆへくもる穴花乃夕暮あまの五月 **手向** 七月十五

あつらん庭堪草ゆへくもる穴花乃夕暮あまの五月 **手向** 七月十五

あつらん庭堪草ゆへくもる穴花乃夕暮あまの五月 **手向** 七月十五

あつらん庭堪草ゆへくもる穴花乃夕暮あまの五月 **手向** 七月十五

あつらん庭堪草ゆへくもる穴花乃夕暮あまの五月 **手向** 七月十五

あつらん庭堪草ゆへくもる穴花乃夕暮あまの五月 **手向** 七月十五

あつらん庭堪草ゆへくもる穴花乃夕暮あまの五月 **手向** 七月十五

あつらん庭堪草ゆへくもる穴花乃夕暮あまの五月 **手向** 七月十五

あつらん庭堪草ゆへくもる穴花乃夕暮あまの五月 **手向** 七月十五

新羅集卷五

水の原之邊 **みわ** 水のたもとなる **あし** 水より入て也

るのたか **くも志** 水あそく **海** 水より入て也 **あま** 水より入て也

又とせき伊路く水と云共より **志** 志と云 **し** 志と云

真清水共ら又益原あせ事 **あ** 水より入て也 **あ** 水より入て也

○あこもるひさ川ゆもり初あれりつらやむさやいあさむむさやいあさむむさやいあさむ

むさやいあさむむさやいあさむむさやいあさむむさやいあさむむさやいあさむ

文字と書きた **みれ** うもゆりあの **庭** 庭より入て也 **庭** 庭より入て也

あつらん庭堪草ゆへくもる穴花乃夕暮あまの五月 **手向** 七月十五

あつらん庭堪草ゆへくもる穴花乃夕暮あまの五月 **手向** 七月十五

あつらん庭堪草ゆへくもる穴花乃夕暮あまの五月 **手向** 七月十五

あつらん庭堪草ゆへくもる穴花乃夕暮あまの五月 **手向** 七月十五

あつらん庭堪草ゆへくもる穴花乃夕暮あまの五月 **手向** 七月十五

あつらん庭堪草ゆへくもる穴花乃夕暮あまの五月 **手向** 七月十五

あつらん庭堪草ゆへくもる穴花乃夕暮あまの五月 **手向** 七月十五

あつらん庭堪草ゆへくもる穴花乃夕暮あまの五月 **手向** 七月十五

あつらん庭堪草ゆへくもる穴花乃夕暮あまの五月 **手向** 七月十五

あつらん庭堪草ゆへくもる穴花乃夕暮あまの五月 **手向** 七月十五

あつらん庭堪草ゆへくもる穴花乃夕暮あまの五月 **手向** 七月十五

あつらん庭堪草ゆへくもる穴花乃夕暮あまの五月 **手向** 七月十五

新羅集卷五

楠列 松月ま草ゆる知のいすーを此城中のほありけきくともこの心を
 丸人そくじびあわりのあまるとの心のうさくぬこくさや桓天皇
 此守長也も秦下丸と云人海あり成て下ろす時野海あり汲てのころ
 う海勝ふとて包め其後亦小上て病々るとれを我ろれうこ伊行もれく志水
 とのこころりーのようりーのうさくこの心さくさくさくさくさくさくさくさくさくさく
 をうくみくよれれよ道してぬけくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさく
 とのみくまもよまありあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあう
 水と思ふーのりーのりーのりーのりーのりーのりーのりーのりーのりーのりーのりーのりー
 めくく小海とらし又長流小海中の志ありんかの事と云とらし

山城 大系月螢八まむくくをけり 逢坂園志ー ○お坂此本此下 陰のつこまあふ

ついで橋ふ 清ー 観音池観音けりてまこの 清平流ー 城列 ○鏡小 色うけりたり

一のあの面りーのりーのりーのりーのりーのりーのりーのりーのりーのりーのりーのりーのりー
 こくまをれはま日ーまあり せりの井のー 山志ろ さへけく共の
 そひてゆりーんは光と

清和の 恒吉北海澤ー まれれ下ー あふ尺 志賀大捕田

〇川 二 河

もやほーのりー 上の流ゆりぬやーま せまー 寛平菊会 小ね板小

朝ー夕ー夜ー 精綱 山ー岩ー滝ー びーせー流

稜ー清平流ー 名系とりくさるまはつとあまると六神の心方の海と云 玉ー 卯花さるる海や 夏ー 冬ー

のりーの川れりやれぬく絶ー 玉ー 卯花さるる海や 夏ー 冬ー

拙ー 善まうへてゆり板くれ ゆくー 橋ー 湊ー 入海の 一 流

らー風ー霧ーむらー 波ー氷ー岸ー ちろろー 氏源

のりーのりー 瀬ー竹 かり建てて 一 杉ー 藤ー 社ー わくー

谷ー原ーおさー 山ーのろろー 〇山はこまこうかたのれちあ ひれちかまうくれりーのろろー

山ーあしるまー ちるる志わー 一 一 一 八雲 山鏡

也下 一過一をこ一ト一と一渡一うら一涼一戸

一門一子鳥一る一ひ一せ元一涼一うひり

おとと一 石多ふ海 いあくと一 和物後ふやまあや泉のちりなりと

石多ふ海 ありのたれ一 未交 うら一 是れも河

てあ方より我流也まてまてとくとくと直 一尻 是名ふく柄別也○後の之大は

をちゆり一と そわりのあ又舟 一お渡とと一のあま 一お磯一

○さうと波よまをかうかうと初流海ううへふ 伊勢へ往名あるうらと

破れかたうまひしと又沖をもうありを 花ふりかくともおらぬ

こかたあをかうかうと力をうま草力をうまわの床をこのうと川あ とととま

たるをえれたつと一袖のみあど流津ひあせととを海の海又此くさ くそをのう千多返くう渡川ハ能

中一 名所有ても又是く山城變言

いせわさる一 後撰是 一のあせなうらん 志元

一お渡とと一 ととととと 一お渡とと一 お渡とと

おととととと おととととと 山一乃みか志 指志

とたさつとや とたさつとや 大井一うら ぬ井せえとと

あり あり 真中一 真中一

之はさぬ 之はさぬ 泉一 山城お郡部りくう此森のかやみうの系とまけて流く又主

也ととと 也ととと 夫宮 夫宮 おあれ元正のあ おあれ元正のあ 一つけう つけう

流れ水 流れ水 わらふ勢 わらふ勢 流元 流元 花紅 花紅 舟 舟 まさ まさ のつ のつ かくて かくて

貝 貝 ふま ふま あり あり と と 石 石 は は 乃 乃 ま ま かつ かつ

海 海 の の ま ま や や 石 石 見 見 一 一 石 石 少 少 一 一 石 石 家 家 一 一

海流考

文伊々ん此海共ふハ
雲沙洗石煙
久一
大和又
不知外一

あふ足大上郡さきもらりすおおわりのこのとのの
山々々つつけけり又只この山とりの
射水一
えつ中あこし

たふ船人これとの
伊津貫一
みの万代鶴の毛衣又ららせ
生田一

移津国さきもれあつひえと
布衣
石踏一
瓶前酌
又十鈴一
伊勢月神

代又文柱さきつ若松
松花此後流絶せぬとこのの波
市一
山城さきもりる
紀州五月雨神

上と妹妓一
紀州む薩忠りも勢の中よりゆき
磐田一
百歳此たちあ

ひ狗
神ね一
或もつりあひ海とりいさしもの
出入一
未勘のりり

つと家こあつと
山城ハ
もや一
さう足せ
濱名一
うとた

平山
原一
同上のあつとこの原の海旁うさそののと
針一
伊勢のりう衣

あ新の糸りりく
伯瀬一
大和石り一
たきつたきついでし
大和のまきりり

む足とれ神五月あつとつ
松花
丹生一
抽人五月雨舟木ヤ葉一

鴨又丹生
綿一
純登りもよあつと
西一
やふ大井海也○
川海や海

奥羽鶴
の毛衣
みそえ
あつと波
新一
越中名少り一
あつとあつと神あつと

沖と郡
新登一
○新登りもこれとこさして
細一
大和名少り一
あつとあつと神あつと

のれい子さつ
埋連あつと中まうねぬ
細一
大和名少り一
あつとあつと神あつと

くきひ中
山れいおせほとまあり
細一
大和名少り一
あつとあつと神あつと

めくげれん
あつと代も二度とめり
星一
伊勢りさ
あつとあつと神あつと

かり海のあせ
この非をい
星一
伊勢りさ
あつとあつと神あつと

はの海の
これとよまきの
伯瀬一
八雲山説もつせとま
あつとあつと神あつと

つとけり
やこさうも
伯瀬一
伊勢りさ
あつとあつと神あつと

小箱
戸部瀬一
山城後士とみり月足
る籠一
あつとあつと神あつと

力海
あつとあつと
あつとあつと神あつと

大和のり
豊一
あつとあつと神あつと

大和のつらやうやくのほれをいして我大えんれは

子年一
は後志依りなり代よつりへつておふたむ
つる舞羽の水やききと
みれい海の流なりうむ

子年一
は後志依りなり代よつりへつておふたむ

布引一
移列お布引の湖の末ぬか一

同ハ一
未勘のあさりぬれやりて人の志れぬ

嘉羽一
山城愛宕郡世え入一水言いのあ本の家月五月毎

雄神一
ひつ中のおりりともこれおのおおおもめ

度會一
伊勢のまじりひのおがりもその人のたり

掻一
山城し訓郡のさくじ中なりともあり是りつらりのや

行足一
越中へつりともあつるさ

行是一
内

行貝一
越中へつりともあつるさ

行瀬一
お列の端

行願一
まき又足

行願一
お列の端

行願一
まき又足

行願一
まき又足

行願一
まき又足

行願一
まき又足

行願一
まき又足

めと 玉嶋肥前松浦郡あゆつゞは川上る家であれと志とやうに尺橋
まへ 月抄夜さけ世とつりく時多花の玉嶋やれちるあゆの
ゆ柳下葉打ちり 八雲 玉造奥州但末定万 玉山城

秋風そあく 玉嶋奥州但末定万 玉山城
打か玉川を又只玉海を又し玉海月多本より一而武彦一而を江一而奥州
あまも聖田玉海を又只玉海共一而紀伊寺野奥院○玉海おさうもつたり
あらうく小蓋れ人のあしやかか是ハ武州之狗とめて山吹うらわつひに
ゆきめく星あまも山城や柳宅時多月○夕御連も塩田ありてみりものこれの
たのむつし千多けくやこれを奥列之野ちの玉川族として是ハを江やゆさ
聖奥おむりしとくも水上小毒虫の多うとけまを山流とのひま一とあり

あめーとて後うとぬらう弘法大師○忌連ても 玉津小あめ尻
くもやまゆらん松人の言聖のちくのむりもあめ 玉津小あめ尻
めふらふむよれ 多度兼徳○たと承との流を流りて一高嶋

あふ尺柄 五月日○秋といへを光をうくてより月のみ 高天和
人後拙本 五月と世の波をきよくむむりうこふらうこ 高天和
水のうみ 高瀬大和茨田郡五月海こも 龍田やまといの尺たり

と九月の 高瀬花油の尺たり 龍田紅糸めと蓋あむ抄
つけ三月米寄飛うと夜うらむれりあつて一尺うれしゆ 竹一

縁もさうくうらんほち樂の呂のまじ橋山吹 田上手のりやか 太
刀小後方のつくより表更くこれとつとも 珠花越前 漆

一 梳おを宰府むつてあめ 兼我あえの千多鳴そうの海風方

半うみ 油振赤勘池大和死○わかもこもむすどのとすか そりて

山城ハ 行くそ一 兼我あえの千多鳴そうの海風方

雲西流 行くそ一 兼我あえの千多鳴そうの海風方

肥後赤あせふよとむなりと赤なる月やかせ 高本山城の赤に

のろと五月の油れさうと足をもこしつむむ 高本山城の赤に

とろ小振ららわうとつとも 夏箕大和赤野郡勝きうゆかあれあた

かりあらんり家人 夏箕つあさちさつくあかちりの月ひ

き 山城紅糸 高本山城の赤に

さうとへ 延田伊津貫兼徳鶴の毛衣月 茂庫奥州のむと海

うりりら 延田伊津貫兼徳鶴の毛衣月 茂庫奥州のむと海

兼盛巻五

九

うねりのありくろくまふねれ 揚津山むら昔野郡物舟の名のきーしをか
もはらるり 六田大和のちのち 宇治山むら昔野郡物舟の名のきーしをか

舟小あり うるひふのちのちのち 揚坂ふのちのちのち
このあり物のありきの 係ちかむんのちのち

海登大和のちのち 野戸瀬河内のとせつ 猪名武州の角の
ちかむんのちのちのち

後大和のちのち 聖路玉とに菰月 後後
武州の角の

大原山城のちのち 翁寺勤のちのち 大羊丹波のちのち
丹波のちのち

大井山城昔野郡舟舟のちのち 大渡丹波のちのち 久米丹波のちのち
丹波のちのち

倉橋丹波のちのち 結紀伊のちのち 思田丹波のちのち
丹波のちのち

草丹波のちのち

草丹波のちのち

草丹波のちのち

草丹波のちのち

草丹波のちのち

草丹波のちのち

草丹波のちのち

草丹波のちのち

草丹波のちのち

草丹波のちのち

草丹波のちのち

草丹波のちのち

草丹波のちのち

草丹波のちのち

大和 大和国也
白浪 大和国也
野洲 大和国也
山宿 大和国也
山城 大和国也
八揚 大和国也
三 大和国也

志能 大和国也
松浦 大和国也
色向 大和国也
葦 大和国也

紫 大和国也
船 大和国也
二保 大和国也

藤 大和国也
西土 大和国也

巨勢 大和国也
憲 大和国也
木幡 大和国也

子指 大和国也
少 大和国也

武列 大和国也

武列 大和国也

武列 大和国也

武列 大和国也

武列 大和国也

武列 大和国也

武列 大和国也

武列 大和国也

武列 大和国也

武列 大和国也

武列 大和国也

武列 大和国也

武列 大和国也

會瀬

奥列のせきとめぬ人め候とふこと
多きとまり建もぬぬめあふ勢ありか

舎津

奥列は鹿
と出羽は

河

武隈

奥列安産郡よりあり代におも
御連本舟よりまたりせり

秋津

大和万代よたゆん
なくた多ひくか

空瀬

又元師ゆせ大和河はたう
ひのあり也まれとくとふある也
おと月を中のごんか

河渡

と江あらし建柳掛渡をささく家
ちよやとらうりて成まき江に

葦疎

海内水うけ夏七又五月御座
お干ききくさきの神くて

天

お干ききくさきの神くて
お干ききくさきの神くて

天

海内水うけ夏七又五月御座
お干ききくさきの神くて

あぶら

あぶら人をあくるまらせり
あぶらとんじまに
あぶら

あぶら

あぶらとんじまに
あぶら

天中

あぶらとんじまに
あぶら

天中

あぶらとんじまに
あぶら

天中

あぶらとんじまに
あぶら

天中

あぶらとんじまに
あぶら

澤田

あぶらとんじまに
あぶら

澤田

あぶらとんじまに
あぶら

更級

あぶらとんじまに
あぶら

更級

あぶらとんじまに
あぶら

紀伊

あぶらとんじまに
あぶら

紀伊

あぶらとんじまに
あぶら

泉

あぶらとんじまに
あぶら

泉

あぶらとんじまに
あぶら

更級

あぶらとんじまに
あぶら

更級

あぶらとんじまに
あぶら

更級

あぶらとんじまに
あぶら

更級

あぶらとんじまに
あぶら

更級

あぶらとんじまに
あぶら

更級

あぶらとんじまに
あぶら

更級

あぶらとんじまに
あぶら

更級

あぶらとんじまに
あぶら

更級

あぶらとんじまに
あぶら

更級

あぶらとんじまに
あぶら

更級

あぶらとんじまに
あぶら

更級

あぶらとんじまに
あぶら

世又つもうひにせ忠申すけ千きなりし
あきこれきりく長しう下ひとぶ
りて八月のうけくし

あさこれきりく長しう下ひとぶ
りて八月のうけくし

あさこれきりく長しう下ひとぶ
りて八月のうけくし

あさこれきりく長しう下ひとぶ
りて八月のうけくし

あさこれきりく長しう下ひとぶ
りて八月のうけくし

あさこれきりく長しう下ひとぶ
りて八月のうけくし

あさこれきりく長しう下ひとぶ
りて八月のうけくし

あさこれきりく長しう下ひとぶ
りて八月のうけくし

あさこれきりく長しう下ひとぶ
りて八月のうけくし

あさこれきりく長しう下ひとぶ
りて八月のうけくし

あさこれきりく長しう下ひとぶ
りて八月のうけくし

あさこれきりく長しう下ひとぶ
りて八月のうけくし

あさこれきりく長しう下ひとぶ
りて八月のうけくし

あさこれきりく長しう下ひとぶ
りて八月のうけくし

あさこれきりく長しう下ひとぶ
りて八月のうけくし

あさこれきりく長しう下ひとぶ
りて八月のうけくし

あさこれきりく長しう下ひとぶ
りて八月のうけくし

あさこれきりく長しう下ひとぶ
りて八月のうけくし

あさこれきりく長しう下ひとぶ
りて八月のうけくし

りて八月のうけくし

りて八月のうけくし

りて八月のうけくし

りて八月のうけくし

りて八月のうけくし

りて八月のうけくし

りて八月のうけくし

りて八月のうけくし

りて八月のうけくし

りて八月のうけくし

りて八月のうけくし

りて八月のうけくし

りて八月のうけくし

りて八月のうけくし

りて八月のうけくし

りて八月のうけくし

りて八月のうけくし

りて八月のうけくし

りて八月のうけくし

鈴鹿の形多きところ
鈴鹿祭別〇やせせわたりて取なりよこし子こ

角田下総〇まらち山夕〇しきさしのすいたう
角田楽みみりや
角田下総〇まらち山夕〇しきさしのすいたう

〇何原
〇何原三
何原大和〇

又十鈴河原
又十鈴河原いせ〇をりつらるまよあま防新ひれ

龍田
龍田大和物交夜むもく交
龍田山城〇すくせのきよ

奥津
奥津山城
奥津山城〇すくせのきよ

宇積
宇積山城
宇積山城〇すくせのきよ

天
天山城
天山城〇すくせのきよ

作保
作保山城
作保山城〇すくせのきよ

何度
何度山城
何度山城〇すくせのきよ

〇湖
〇湖山城
〇湖山城〇すくせのきよ

志下
志下山城
志下山城〇すくせのきよ

水
水山城
水山城〇すくせのきよ

水
水山城
水山城〇すくせのきよ

水
水山城
水山城〇すくせのきよ

水
水山城
水山城〇すくせのきよ

水
水山城
水山城〇すくせのきよ

水
水山城
水山城〇すくせのきよ

水
水山城
水山城〇すくせのきよ

ノア ありあけの湖字をよやくしむあふとろろ八十の津をさうく又あふ

の海共よりありけ海をみろめりたるこしあり月あまを舟よやの水

見共よりありけ海共よりありけ海共よりありけ海共よりありけ海共よりありけ

ら玉ねつり海山あふりこよりの海共よりありけ海共よりありけ海共よりありけ

志志しゆの 是を江のよこの海よきつてなれらんしめ子

を綱代 ありの羽衣なりつらんそや乳照ふはハ曹丹三

百六十首の中より七月上旬のさくしち若あふみれ国よこのうえは俄れ乃れ

マアありありありありありありありありありありありありありありありあり

七夕しゆののやをけりくやくもあしこのめふ成てぬけけまよさうえ

所くけて年比ふ敷よけれとし天正へのからんれむさうをさしを若子

と給をのこるれてあり一善一りりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

うたより子の地のむ志居種ふ敷りりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

けれんちうくくと姑よりふけれんこの子てのこり一重よりりりりりりりりり

母交をきてとせたりけねん母よりあひてられよまて恋のわりよりりりりり

海よりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

けりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

おなじしあひぬあしとて母をことせおがの涙とるりりりりりりりりりりりりりり

こりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

ありりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

ありりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

ありりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

ありりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

ありりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

ありりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

ありりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

ありりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

○海 五 回各条

わくつう

わくつうは若くは然共あうのまきれんやうの子を入てん

くや海庭と書てまたつ

くや海庭と書てまたつとて山神を山つとて日本記よむとてさ

れん海林と書てもわたつ

れん海林と書てもわたつとて又又とて又とての子りてて書也又

またつう足のでよまき

またつう足のでよまきとてとてとてとてとてとてとてとてとてとてとてとてとて

こつち海の幸をかきくつ海へ手と
あれたは依も綿あつこととさ
わこのろこ かつあしし

らちけつ あつらつてん あつてそ
或は小渡る海 ちりよ
只海の忠告也

らー 口海く ちりてさ
ちりてさや取ぬと後りちりてたとちりて
ちりてさや取ぬと後りちりてたとちりて

ちりてたとちりてあつちりてちりての忠告とちりてさ
のちりてさよめちりてちりてさよめちりてさよめ
由の切てさよめちりてちりてさよめちりてさよめ

相ふしとちりてさよめちりてさよめちりてさよめ
ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ

ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ
海神の 波せ

ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ
あつてたあき
ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ

ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ
あつてたあき
ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ

ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ
あつてたあき
ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ

ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ
あつてたあき
ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ

ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ
あつてたあき
ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ

ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ
あつてたあき
ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ

ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ
あつてたあき
ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ

ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ
あつてたあき
ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ

ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ
あつてたあき
ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ

ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ
あつてたあき
ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ

ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ
あつてたあき
ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ

ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ
あつてたあき
ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ

ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ
あつてたあき
ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ

ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ
あつてたあき
ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ

ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ
あつてたあき
ちりてさよめちりてさよめちりてさよめちりてさよめ

葉蓋巻五

まてらひの海あさるにー **濱** ととらう尺 **麻** 未勘のここの
 まてらひのうらうを或は越中 **赤** 海の我力
 まてらひのうらうを打ぬ **赤** 考陸秋田
 中よりうらうを打ぬ **赤** 白分尺 **茅** 和

つらうの海あさるにー **濱** ととらう尺 **麻** 未勘のここの
 つらうのうらうを或は越中 **赤** 海の我力
 つらうのうらうを打ぬ **赤** 考陸秋田
 中よりうらうを打ぬ **赤** 白分尺 **茅** 和

丹後月志がたれ千まのうらうあつたのまてらひの海あさるにー **濱** ととらう尺 **麻** 未勘のここの
 丹後月志がたれ千まのうらうあつたのまてらひの海あさるにー **濱** ととらう尺 **麻** 未勘のここの
 丹後月志がたれ千まのうらうあつたのまてらひの海あさるにー **濱** ととらう尺 **麻** 未勘のここの

つらうの海あさるにー **濱** ととらう尺 **麻** 未勘のここの
 つらうのうらうを或は越中 **赤** 海の我力
 つらうのうらうを打ぬ **赤** 考陸秋田
 中よりうらうを打ぬ **赤** 白分尺 **茅** 和

つらうの海あさるにー **濱** ととらう尺 **麻** 未勘のここの
 つらうのうらうを或は越中 **赤** 海の我力
 つらうのうらうを打ぬ **赤** 考陸秋田
 中よりうらうを打ぬ **赤** 白分尺 **茅** 和

つらうの海あさるにー **濱** ととらう尺 **麻** 未勘のここの
 つらうのうらうを或は越中 **赤** 海の我力
 つらうのうらうを打ぬ **赤** 考陸秋田
 中よりうらうを打ぬ **赤** 白分尺 **茅** 和

つらうの海あさるにー **濱** ととらう尺 **麻** 未勘のここの
 つらうのうらうを或は越中 **赤** 海の我力
 つらうのうらうを打ぬ **赤** 考陸秋田
 中よりうらうを打ぬ **赤** 白分尺 **茅** 和

つらうの海あさるにー **濱** ととらう尺 **麻** 未勘のここの
 つらうのうらうを或は越中 **赤** 海の我力
 つらうのうらうを打ぬ **赤** 考陸秋田
 中よりうらうを打ぬ **赤** 白分尺 **茅** 和

つらうの海あさるにー **濱** ととらう尺 **麻** 未勘のここの
 つらうのうらうを或は越中 **赤** 海の我力
 つらうのうらうを打ぬ **赤** 考陸秋田
 中よりうらうを打ぬ **赤** 白分尺 **茅** 和

つらうの海あさるにー **濱** ととらう尺 **麻** 未勘のここの
 つらうのうらうを或は越中 **赤** 海の我力
 つらうのうらうを打ぬ **赤** 考陸秋田
 中よりうらうを打ぬ **赤** 白分尺 **茅** 和

かゆありきんぐのうの海志ふの候と約書一なる
うきま日とてこれへやまを中元海なるやこき粉固一
うたの海よりくくもるなりあはさ
てへりりたきりせん
蘆屋一 抄列うき海ありの
つと舟

を江のうき志戸のあちまの海と漕
ま破一 越中射内郡波の志砂船よこ
かあししうき志戸を志具
まきし志戸の志今りこゆらじ
うつせ具千多志乃敷葛志又海
の越もともありそくしん
河古一 長門波志抄列あさひれ志戸
とくりのさしうき志のこす
らんし女子うあうもの
蘆一 抄列のらま志戸思ふれてあし
まをよ志かまらしん
未勤の志これありうこれ海一
うこのあうまめく足と神よんせて

安知方一
まぬみりのあうらの海と志あさまらりり
ひしてしやうらうせおもうりりせ
山花銅引綱月
あうさく海へ
三方一 づりさ月おなり志と志きう
ゆえのくらまこれとありぬうも
志賀一 志江

比良一 志江
志賀一 志江
後河一 志江
取磨一 志江

浦
六 付るお
浦浪一 志江
ひ一 志江
色の一 志江
あま一 志江
生田一 志江
あま一 志江
出雲一 志江
伊勢一 志江
池一 志江

浦浪一 志江
ひ一 志江
色の一 志江
あま一 志江
生田一 志江
あま一 志江
出雲一 志江
伊勢一 志江
池一 志江

浦浪一 志江
ひ一 志江
色の一 志江
あま一 志江
生田一 志江
あま一 志江
出雲一 志江
伊勢一 志江
池一 志江

浦浪一 志江
ひ一 志江
色の一 志江
あま一 志江
生田一 志江
あま一 志江
出雲一 志江
伊勢一 志江
池一 志江

浦浪一 志江
ひ一 志江
色の一 志江
あま一 志江
生田一 志江
あま一 志江
出雲一 志江
伊勢一 志江
池一 志江

浦浪一 志江
ひ一 志江
色の一 志江
あま一 志江
生田一 志江
あま一 志江
出雲一 志江
伊勢一 志江
池一 志江

つらつらーはまーく
ふらふら志丹此山

伊孫

丹波の若めりうらよさの入海りやまわし
あふよまつりよりののうらうせ

濱名

走江志丹風
山形うら

蓮

越前つらうき勇い海ろふやしき
よまららとのうらとゆえにたまらん

志丹揚柳具のらよさる綿のうらと来て
これいづらうぬあまらまきくみるらり

命田

志丹志丹
志丹志丹

未勘枕の上ふ志たねくむらさけは月の涙のそりあわし舟色うら
ぬら「力をささるうら」心床のうら風志きたへのまあれうら

母田

同志伊勢は花橘とま
き回る丸吹る五月五月

志津大

志江足
らん

すうこもあき〇ミー人もとよの浦用
まをぬよつれかくをめう秋れうの月

時

長門わらり
ひ思ひつら丸

のホあ戸とあますうれのゆ
しまれとくうらうのうら

茅俣

泉列のりりうらうら
お松志かひうら足序

きの国うらうら〇あゆらうら極ひよら
うたのうらうらあさあく舟此沖おせうらみ

子賀

流お千多足序
あ計を契うて

おゆらもやく極煙〇らうらうら流せうへあひち
うらうらわくてもまきうらうらか或る肥らん

子坂

志江鶴〇志
う代の数よ

小極

やうら極き小秋の月とらんらん
未勘秋風のちしものうらうら

小江

千多
あ

極みうられきうらとる足見老のは月松の糸あしよらうらひれい沖つ志か
あひえうらり海まうらあまのりや本むつ海極もまき寄舟入江のま
うら神松志丹まうらあつひらうらや孝漢千多跡つひらうら心志むらうら
志とまあれうらささくおんれりうつ考よあうらうら吹つうへうら若の浦
旧家風うらうら松老本の松むひろうらうら足ししのま志うらうらうら
舟わうのうら海ろらうらあわらく鶴並み和志よ考うらうらうら千多とまあうら
まひ吹上
の浪とや
未勘〇おあつうら極みうらうらうらうらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら
〇つさやあしうらぬのうらうらよ白お
の袖さくぬれてあささつうらうら
のうらうら火船志破る帰る夕
煙あまれも志海れらあま

志取

下総志取あうら夜月神勢をき又同名志をはうら
よまうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら

志推

らん

韓亭

ちくまん
あ

志本

丹波の枝とるうらうらうらうらうらうらうらうらうら
吹んあうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら

勝間

志わうの思ひ出よ千世の子日のうら
うらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら

風早

後海〇我ゆ
あ

うらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら
つらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら

葛籠

下総月〇うらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら

風莫一

○うさみまきのうらの白みえりつら

形見一

紀別をりり舟

志あ戸の舟舟一

鹿嶋一

志が 雲田一

志江あ

けらひあてなえつと舟辨

ふ謝一

たしん松のひりちりりい

余古

あふふ一

と江○

玉一

この国あさこま

平が

お列○到て足志たりこれうのうひと

玉嶋一

洗お○まら海玉

あらしちりりれあ

平級一

越ああ戸○の海

さ砂一

櫛列松

行一

同志○

さ間一

考別

そろみく袖やゆれらん

行敷一

對る

さ師一

考別

たくりのうりのれさ

竹敷一

玉もね

さ師一

考別

あふえ 田籠一

あふえ 越中○

ゆらんみぬ人乃

多苗嶋一

越中○

つひつけろせん

龍一

大和○

さしそあうらめ

神師一

お雲う

ろこひ

乃一

未勘○

神一

おね

と入江の足とつ

津守一

考別

とあふ

角一

石見

人こうみくめ

根尊一

丹後○

藤原石か

角康一

考別

の浦

すくし 那波

移易梅あきつ泊おひとつ掃蕪新をてあーさふらをかた
れやうらえんけのあふあー乃うき孫文木引あつ所の

抽うまめしうらおすむ月千多うら細き引きたのて舟みう連あーのう
らハ時多あまのくくあるあー火たく夜うら老れ波とてうあわうらお

1とんのこと堂かよそ人あーしのまのやゑのあーのれねえれたつう
夏あひえあーの一粒那波おこりやれりあをへ江あーのうりの世

書かよちめりおひうこかおつやこえ
おして尺ねら時多あういこ海のたけ
名さうー
き江○ひうされれ各さ
のう程のるのまうれい

そまうひうしん何まらつ連を世れさのうらのまひさままあうらよ神の
みりれて紀別を同名○まの国のるさ乃うらおうらかなこのととたうーうも

めしぬこ
ゆうり月
移別○うつえさうふたしてのうらのあ
同土○か
のうらうは隠みうてさ

舟うつととすうーも浮陀国
名佐可ー
○ひうちならかさう

明の忠よ十
名是ー
とつ中又つづの国つとよれ貝意あ戸人お
のうらうは隠みうてさ

つづの国千多あう代のさし連石鶴
夏方ー
紀別○すうさすあなつこのう
らうらうらるまれあひこもさま

こつうおも
長濱ー
松登○まの海まあさひうさくこまくれ
あふ

乃ー
すわう又は列志おのきむも○まうーまらうまの
あさるれ
あさるれ
あさるれ

くろとやの
鳴尾ー
つづの国秋まきむくならた
尾張帳と海ひ

あちひうせうめうのまむる千多あひく
武庫ー
つづの国入江のまきん
くしりう田鶴千多米

食まうあまの泊舟神のめく足極ひうこ城のひらの本ま○むこの
家ー
つづの国

うらま○むらのううのせとのまらなるうらまのい
後
但易○あー
海さびすあ

そこす浪まのれゆしんうもまな舟せとのまやま
後
海さびすあ

のうの朔日おれりお
鶯ー
大和成ふ海内免とまこさ
宇度ー

おらあはれつと舟
鶴名ー
つづの国月
野鳴ー
と江まも

後瀬ー
若判うつまのあふ
みくめをうつと
後
後方志摩郡○うらとまらり乃この

ぬ日ハ **結登** 一 万〇のこのうらふつマモくらあまの **大播田** 一 国

云泥志う〇遠きよくうちまらう一〇 **大** 一 せ江〇みるまのうらうら

神代より千舟のともあつたのうら **大** 一 同右〇むもつた大江のうら

ともみくろく **大江** 一 の光もらりぬへうらりたる人の大江はうら

ともみくろく **大江** 一 ととたう尺〇大志のみしと一〇尺おや **大渡**

けり **おやの** 一 のうらとそうひよえつと山へのや **大渡**

伊勢よりやまみらめ貝鶴海なるあす乃つマお孫あやめ尺そき神の初も

〇大淀の尺そえつて代女ゆん神さひわくうらうの姫〇おや

との松とつらうもあうなくお **宇生** 一 同右又越中射水郡を同名振あさ

うらまそこのもめく傍はうか **宇生** 一 委かれるのこもちとらねれ

みつめつりつ連の海をこく枝りたやひかりのさりをさすすとねて

うらうりし又越とを〇とらうよそわ連のやりひ一〇枝のうらうのありそ

れめくりこれ **鳥峰** 一 持統天皇伊勢国一初幸の時部よめてうらうら

とあうぬや **鳥峰** 一 人丸〇とこ乃うらお舟のまきらんつマともものむ

もれすそよと **松** 一 ひきんととめらとここのくよのあすととめありの

かまひらんう **松** 一 約束も波の千つるをたてて鏡神りか

又ほく松浦お孫みれ **松** 一 ちゆえ〇松ううらうらうらうらうら

ひらひてたのへまわり具 **松** 一 真影のひか孫のり

〇中くおおおをまのまきの浦 **松** 一 淡路舟せよみゆあてち海こ

のあまをうま一とむもりけく **松** 一 ぬんとも極むれおむとら

けくタ **的形** 一 紀元〇的うくの浦れすまを波一と **麻利府** 一 すと

ゆもついへちうくありせとこれとあうぬまりあゆと尺勢一〇大

舟よりうらおてきて遠きうまはさあのうらうらやとらうせま一〇大

〇中くおおおをまのまきの浦

のあまをうま一とむもりけく

けくタ **的形** 一 紀元〇的うくの浦れすまを波一と

ゆもついへちうくありせとこれとあうぬまりあゆと尺勢一〇大

舟よりうらおてきて遠きうまはさあのうらうらやとらうせま一〇大

〇中くおおおをまのまきの浦

のあまをうま一とむもりけく

けくタ **的形** 一 紀元〇的うくの浦れすまを波一と

ゆもついへちうくありせとこれとあうぬまりあゆと尺勢一〇大

舟よりうらおてきて遠きうまはさあのうらうらやとらうせま一〇大

〇中くおおおをまのまきの浦

のあまをうま一とむもりけく

けくタ **的形** 一 紀元〇的うくの浦れすまを波一と

ゆもついへちうくありせとこれとあうぬまりあゆと尺勢一〇大

舟よりうらおてきて遠きうまはさあのうらうらやとらうせま一〇大

〇中くおおおをまのまきの浦

のあまをうま一とむもりけく

けくタ **的形** 一 紀元〇的うくの浦れすまを波一と

ゆもついへちうくありせとこれとあうぬまりあゆと尺勢一〇大

舟よりうらおてきて遠きうまはさあのうらうらやとらうせま一〇大

〇中くおおおをまのまきの浦

のあまをうま一とむもりけく

けくタ **的形** 一 紀元〇的うくの浦れすまを波一と

ゆもついへちうくありせとこれとあうぬまりあゆと尺勢一〇大

舟よりうらおてきて遠きうまはさあのうらうらやとらうせま一〇大

〇中くおおおをまのまきの浦

吹上

と船とぬけ井れをむ世あけののうらえても子とめつ

たつ舟舟波は月名千き月よきのぬけ井とつてきり

苗 丹波のきるるをうらひり
てきくちるはあしのうらひり

紀州のうら浪の流りあけぬうら

布努 越中射水
郡のあせ

思くぬ **右江** 未勘の五代のうけとるる鶴の
きむうら江にうらひ松をうらひ

藤江 ぬち江のうらひり
わつたのあつたへの

のうらひりてあせし百歳の大官人より

藤井 月ちのうら井れうらひり
あしこのけいこのう

つきつらあまとうみしん核ゆわきを○沖つはへまことやそえりさす

藤井 つゆとあふねりうらひり
あしこのけいこのう

とわら江乃うらに舟をとめり頼つゆせやく船にうらひり

古津神 うらひ年へてうらひり
あしこのけいこのう

あつたもの煙たつ火のやうなやわらうらひり

阿古 越中射水
郡のあせ

紀州月夜とりやあき雲つてうらひりてつじや隘木の○うらひり

阿古 越中射水
郡のあせ

わらひりてあせし百歳の大官人より

阿古 越中射水
郡のあせ

あつたもの煙たつ火のやうなやわらうらひり

阿古 越中射水
郡のあせ

紀州月夜とりやあき雲つてうらひりてつじや隘木の○うらひり

阿古 越中射水
郡のあせ

わらひりてあせし百歳の大官人より

阿古 越中射水
郡のあせ

あつたもの煙たつ火のやうなやわらうらひり

阿古 越中射水
郡のあせ

紀州月夜とりやあき雲つてうらひりてつじや隘木の○うらひり

阿古 越中射水
郡のあせ

わらひりてあせし百歳の大官人より

阿古 越中射水
郡のあせ

あつたもの煙たつ火のやうなやわらうらひり

阿古 越中射水
郡のあせ

紀州月夜とりやあき雲つてうらひりてつじや隘木の○うらひり

阿古 越中射水
郡のあせ

わらひりてあせし百歳の大官人より

阿古 越中射水
郡のあせ

あつたもの煙たつ火のやうなやわらうらひり

阿古 越中射水
郡のあせ

紀州月夜とりやあき雲つてうらひりてつじや隘木の○うらひり

阿古 越中射水
郡のあせ

わらひりてあせし百歳の大官人より

阿古 越中射水
郡のあせ

あつたもの煙たつ火のやうなやわらうらひり

阿古 越中射水
郡のあせ

紀州月夜とりやあき雲つてうらひりてつじや隘木の○うらひり

阿古 越中射水
郡のあせ

わらひりてあせし百歳の大官人より

阿古 越中射水
郡のあせ

あつたもの煙たつ火のやうなやわらうらひり

阿古 越中射水
郡のあせ

と江 會瀬一 考及○七々此りか勢のうらみ あ波手一 尾張あ

もみらめをうらく物とくきえけちやたれ油のひるまうら あはんれ

せりひるふたてくきもーやひうさくあまのてて舟 あむたれ

一 こめさめんをさめりやくてなほ因も長 あむたれ ○まゆりるら

かんと神もめろくをくろ 丹後みる あむたれ お雲○伸つあ

白ろく勅撰うき不入多 あむたれ 足へるこのき

ふゆさこのう流ばさこそてのちあひしんも○さたからあまさ 雑

たのうらうらふら白あまほをかくとよをいりふつもろくさ 雑

賀一 この国○その国のさひうのうらうらひいて 里湊 あんとややなきた

ろうらかえりかや 揚一 きの国住和泉あふ具つと○新まればり

ゆくじまのろく孫 夕日一 たしんえのつさこりさあふを来つれ 三尾一 らほく

ら松月勢同もやのえれせけりけり清みう用ともう人ら 三穂一

富士のりあまとも人らりもあゆもと麻や山ち打ゆく 三穂一

つこの国もーのやくもさうつし 箕面一 つこの国さめる

一 つせうひひるさきううお救やうらうら 見れあれ うりる

このあのおうられうら勢うひひり さうと○志とらさひえう屋さ

天の心をとまききききや佐統前を さなり孫つこ葉あひもをあ

も我夷一 と江長明 三徳野一 紀列又伊勢と海ゆめ志松松

の白 奥州○さよきて頼もや 三名部一 紀列伊えお○

小吉 月影をあのはのうら 三上 うらま人のう

ら燈尼つあう一 あはつめつ 三津一 と江

あはつとみくつくま あはつめつ 三上 お江燈

のき お波○うちあせと足さーれうらうら 三上 お江燈

松 あまーまきこーく人をもるけれん 三上 お江燈

ますしとささほのくふ お別西生郡意○難波つとろみとろつ 三上 お江燈

つ三上とつてけり お浦さうらこさやい世をうえりる舟 三上 お江燈

三女一 あみま手鏡千あり舟松月麻あま 三上 お江燈

かりまひる尺書○とさし あみま手鏡千あり舟松月麻あま 三上 お江燈

おとびあはれあしらのうら あみま手鏡千あり舟松月麻あま 三上 お江燈

紀列煙あはれ○志るい あみま手鏡千あり舟松月麻あま 三上 お江燈

かぶよ跡となれくるり あみま手鏡千あり舟松月麻あま 三上 お江燈

風出書

らめさ溝ぬは... ぬぬぬ

燧電

奥州宮本郡煙...

もあより気とらう...

信夫

信夫...

あそ人志れぬ...

志賀

志賀...

あそ人志れぬ...

あそ人志れぬ...

あそ人志れぬ...

あそ人志れぬ...

あそ人志れぬ...

あそ人志れぬ...

あそ人志れぬ...

あそ人志れぬ...

あそ人志れぬ...

あそ人志れぬ...

あそ人志れぬ...

あそ人志れぬ...

あそ人志れぬ...

あそ人志れぬ...

あそ人志れぬ...

あそ人志れぬ...

風出書

風出書

うらう伊箇 **恒吉** | 移別き一の松松若草松也志砂矣しうらひ
一海の道月一矢はうつ志不又立神あをの玉うき
十本のしこそきおき鳥重鶴もつゆとあうらんがーうらうひ九月あ
入神うつせ貝とをつくー○位者此松の芳の二葉より久しきしこれ
ありそひく

○磯

七日ふる松磯八海海湖池極もきり趣てあまきのこ

波の波 **十** | うらう浪一ぼふひーうらふる波一

くく松 **あ** | あうらう ^{是もい} 荒うれ浪 あうら志

ちりて見れ | 後抄と八
まは流 **あた** ^{八雲伝候い} 一めくつ ^磯

やあまの **松** | をえけこいつる ^{今播一院と小磯と}
みこ ^{ふも徳也と八雲伝}

一此 **ま** | 申 ^{いられ} 〇いられまのたつ山海はすすあうらも又もあひらんあ
今集一ゆらん由とふ文字とつける万葉の書うらとふ須小あひうかちり

移別 **う** | 手き ^{丹後つこまあまのまを}
月い **ふ** ^{うらうめ松蛍月千き} **なる** ^{〇ひら}
のう ^{〇申のうら陸ひもけ}
い ^{〇うらうのいろれ}
とあ ^{〇いられ}
と ^{〇いられ}
と ^{〇いられ}

八十一 | 日よら **松** | ^{奥別あーうらの}
雄 | ^{〇ひら}
〇いられ ^{〇いられ}

あ **雄** | 〇いられ ^{〇いられ}
〇いられ ^{〇いられ}

あ **雄** | 〇いられ ^{〇いられ}
〇いられ ^{〇いられ}

あ **雄** | 〇いられ ^{〇いられ}
〇いられ ^{〇いられ}

あ **雄** | 〇いられ ^{〇いられ}
〇いられ ^{〇いられ}

あ **雄** | 〇いられ ^{〇いられ}
〇いられ ^{〇いられ}

あ **雄** | 〇いられ ^{〇いられ}
〇いられ ^{〇いられ}

あ **雄** | 〇いられ ^{〇いられ}
〇いられ ^{〇いられ}

る矣一 越前○あづきの安のてへへの白あふるれ
お見一 つの国位

とら一 のれうのてへへの柴かりりし女
忠本一 かつやあつよつれ
あさのつし木のてへ

此敷流と流とむよ
怡云 換あねの纏み
忠代一 きの国○つとあらの
あし松う枝を引むす

ひぬさ一 〇い勢のあはるあつられてはまゝうく
星合一 やまらんか一あひれをへてまのわらひあ

きは一 岩つて
子尋一 い勢又きの国○い勢のあちひろれをへ
ひろふを今いひなくおもやゆうかあ

いせのやまの国○万代とふそへん抱ハ
子里一 きのをふ○すあは紙式
ちさとのてへよ日れ書

て秋風とく
忠代の松 上総○まぐのうひありてよくひ海
被忌一

りうきう○年ぬまてつ川と我しを忌ら
神小一 くらと志まの

ゆおハ
りた兄の一 くらさハ
忠田一 せ江銅あこ
るそつし舟 風莫一

此列○無さきのをへへの白るをいつら
幸崎一 せ江大官へ入候ひく細

も建てのつけよ
餘接一 〇さう足ちのうららの後の海さこむ
喫煙

尾張○むらえうくたるを千きまう
さ一 つの国○まをればあせを

まの鳥の
らおれ一 此列○おまつし海たりあめしせいあうき

さお一 〇さうあわら
たいの一 同上ハ
さ師一 和泉大伴のさ
附のをまてそ

アツりまゆそかぬ松松う移花松のてひひ
素数一 尺ちのくのむくゆり

まの糸ちとら縋用くらあさるを志
ゆのうの一 ちちせんくのあつのつものひひ
たつ

つよ物るくくむひあひまぐつ
木柄一 日あさしまを志の掃き多○まの

孫志らむを程まあるる同浦小
おこそれ一 〇舟とあうりたてくくかりま

とこを志

長居長居 井井 長洲長洲
回志回志 井井 回上回上 井井 長洲長洲
○志徳○志徳 ぬぬ 志志 志志
伊勢伊勢 志志 志志
志志 志志 志志

名草名草 打出打出
名草名草 打出打出
名草名草 打出打出

鳥鳥 度度 肉介肉介 大崎大崎
鳥鳥 度度 肉介肉介 大崎大崎
鳥鳥 度度 肉介肉介 大崎大崎

奥津奥津 大伴大伴 大長大長
奥津奥津 大伴大伴 大長大長
奥津奥津 大伴大伴 大長大長

大渡大渡 大伴大伴 大長大長
大渡大渡 大伴大伴 大長大長
大渡大渡 大伴大伴 大長大長

大伴大伴 大長大長 大長大長
大伴大伴 大長大長 大長大長
大伴大伴 大長大長 大長大長

大長大長 大長大長 大長大長
大長大長 大長大長 大長大長
大長大長 大長大長 大長大長

大長大長 大長大長 大長大長
大長大長 大長大長 大長大長
大長大長 大長大長 大長大長

大長大長 大長大長 大長大長
大長大長 大長大長 大長大長
大長大長 大長大長 大長大長

大長大長 大長大長 大長大長
大長大長 大長大長 大長大長
大長大長 大長大長 大長大長

大長大長 大長大長 大長大長
大長大長 大長大長 大長大長
大長大長 大長大長 大長大長

大長大長 大長大長 大長大長
大長大長 大長大長 大長大長
大長大長 大長大長 大長大長

大長大長 大長大長 大長大長
大長大長 大長大長 大長大長
大長大長 大長大長 大長大長

大長大長 大長大長 大長大長
大長大長 大長大長 大長大長
大長大長 大長大長 大長大長

大長大長 大長大長 大長大長
大長大長 大長大長 大長大長
大長大長 大長大長 大長大長

大長大長 大長大長 大長大長
大長大長 大長大長 大長大長
大長大長 大長大長 大長大長

大長大長 大長大長 大長大長
大長大長 大長大長 大長大長
大長大長 大長大長 大長大長

大長大長 大長大長 大長大長
大長大長 大長大長 大長大長
大長大長 大長大長 大長大長

大長大長 大長大長 大長大長
大長大長 大長大長 大長大長
大長大長 大長大長 大長大長

のてんすろーむき 窓ー つの国位を郡〇すむ若のこ

くらひのてや こひろれー さうそハ 明石ー おハ墨の松樹もとも

ー大家 鮑おー きの国 綱代ー 伊勢八十度 鮑堂ー 〇つの国

たれ忘うひ扱ハつて 善作ー 海防ちつたへの袖れろ 穢ー あつ中十

佐ねろー と江〇あみらや出れくもまもる物 全救ー とも必の

夫くのちうを戸むしもあふしつてもあひさうめりんさくのちうを海

雪白ー 佐る〇まと戸防書のちうをすめりちろくきく 雪堂ー 取後〇よ

者のをうはまみれくし木 津津ー つのしま又と江ふま向る志うひ私

夜しつ波の玉まく江 津延野ー 紀州巻ハ山 三形ー 月 羨徳

八巻 志家ねろー ちつ中〇あーの海のをまめく徳とけろー 志

た〜〜ー 八巻 廣田ー 揚州〇ちろ漢の磯の敷ーをあけ福ともめ

高瀬中あ 恒者ー 回ちうつせうひ松ま砂とよび 阪磨ー 同上しめ防

下直ー を江る丸 技ー 上忍亮

〇け 十

けの波しつゆ りあー 北船ー の書 池のー

ーのしつ 通てあま〇波よやとる月をけよゆりくをけうと〜〜ーあ

〇鶴 十一 回名

ひ〜〜 志がひーと張ひー 一とかなと

志平のあうろわ 志海の〜〜

海防巻五 七

のりや是ハ一洗ハせしむる
ハ方此後也ハせつとて用 **石見** 一 づらきれと人よきりすことたりハ
せをう人より玉もあつたのりハ火を

が風舟千 **石井** 一 奥州志保ハ
まてはるまをつや **播磨** 一 〇りまうてす戸の月ハあ
まてはるまをつや **鹿嶋** 一 〇志保ハまてはるまをつや

伊予辺是を破れし
まてはるまをつや **香推** 一 ちくきんとれつ風ちりり津松あさつと
〇志保ハまてはるまをつや

同右〇秋の夜のはほひの月のうら
りた山まてはるまをつや **中** 一 せ江〇山
まてはるまをつや

〇志保ハまてはるまをつや
〇志保ハまてはるまをつや **那波** 一

〇志保ハまてはるまをつや
〇志保ハまてはるまをつや **那波** 一

〇志保ハまてはるまをつや
〇志保ハまてはるまをつや **那波** 一

〇志保ハまてはるまをつや
〇志保ハまてはるまをつや **那波** 一

〇志保ハまてはるまをつや
〇志保ハまてはるまをつや **那波** 一

〇志保ハまてはるまをつや
〇志保ハまてはるまをつや **那波** 一

〇志保ハまてはるまをつや
〇志保ハまてはるまをつや **那波** 一

〇志保ハまてはるまをつや
〇志保ハまてはるまをつや **那波** 一

〇志保ハまてはるまをつや
〇志保ハまてはるまをつや **那波** 一

〇志保ハまてはるまをつや
〇志保ハまてはるまをつや **那波** 一

〇志保ハまてはるまをつや
〇志保ハまてはるまをつや **那波** 一

〇志保ハまてはるまをつや
〇志保ハまてはるまをつや **那波** 一

〇志保ハまてはるまをつや
〇志保ハまてはるまをつや **那波** 一

〇志保ハまてはるまをつや
〇志保ハまてはるまをつや **那波** 一

〇志保ハまてはるまをつや
〇志保ハまてはるまをつや **那波** 一

〇志保ハまてはるまをつや
〇志保ハまてはるまをつや **那波** 一

〇志保ハまてはるまをつや
〇志保ハまてはるまをつや **那波** 一

〇志保ハまてはるまをつや
〇志保ハまてはるまをつや **那波** 一

田ら○あゝ浪の千両とあま
あゆりー ○まゝう思へよらうまゝささ
あゆりー くらあゆりうたをひらけ

尾張りさ
勢田ー 尾張りさ
あつちー 尾張りさありちうたあ
まけくさめくゆめう

○あまうたせしものまひ風を
淡路ー いてやうくつらうらうらうら
酒音ー

○あすうあ
安須賀ー 酒音のあ
あまうたせしものまひ風を

○あまうたせしものまひ風を
葦原ー 揚列○あーやうた月をむうたのうら
田あすのたく史のまあまよき

○あまうたせしものまひ風を
薩摩ー 揚列○あまうた月をむうたのうら
田あすのたく史のまあまよき

○あまうたせしものまひ風を
ちとりは用多きり志破山中へ日舟足海の海よーと平の松
象ー 揚列 月も

○あまうたせしものまひ風を
一が莫○世中へうくてもむらりたのあすのたせを我言うーと

○例 十二 日を
一濱ー 一きんひー 例は例や必まうらひをひー里

ち乃ー ち乃とー ずらー 一海 例は一海
色郡定

川底○人をもすたつら海一つの国のりうとをくく袖そらうらうー

○崎 十三 山内池水きとあり付る系

りや海 ト総○まらち山夕あしくれてりやのすまゝ海あ
志ー

揚中○未まきあ世れうけいそ又ー 海田○うらうあ
伊良良ー 志

れんりくされり 破ー ○破さるを漕てうくまをばら
伊良良ー 志

国去麻郡ちりりもめ時をむを 磯ホー 津樂あり未勘たの
伊良良ー 志

まのー 揚列ハ 出ー 揚列○うらとんくいてさめめら
伊良良ー 志

揚り若我定恵の三学のしこと板松系ふうつと海一うハ勢場とまや勢場博
多所くきて遥りりらあーの海ふむいて板櫃よあまむいてれりま

すくもりのついでにせよる事たてしつてこき
まの松のちとせのひらくもるうねとさうの松

三浦交伊勢とさう
星一 尾張〇や一りさやあつこのつこよつこ
松八雲の松

のこの一 八雲 敏馬一 づの国より千のいゆさや月皎海は日とさ
つひとくすくすきとくさのゆけ

とやましくひーく鶴とくまなく 雄鴻一 〇松志海やとーすうさきのた
つひとくすくすきとくさのゆけ

一 思一 山城秋夜と 插田涉一 づの国月夜多車中〇夕つとくひさこの
ひおさて

のうらゝ風〇ころす舟わたの足さきとく
のころらうーまことひくくちやや足つらん 震一 八雲の松を列いそ
おあまのりー

鴻一 常陸さおぬまのふ松松月夜〇うら人もあやきうー 唐一 全江
あつてさうらうー

くの小松すらうねい尺そま月子日あつておら下の真砂松一本の松神の尺
細絲とひさうのーさき波跡いれー神此みゆさきたこのをれ海すまみま

神のうけひくちるー〇うらふ尺の丸の長い縁行々松とそのくささうのう
うらま長等のありとくぬらうとくうへてもしあがり又回るる尺ふありうれ
とさあ

金清一 ちくせんちうのをもめ神志ぬう天松雲あつてさう
一 たりつる日記八雲の松

道々一 多指一 ちう中〇たこのされこの善さけ尺町多
きる尺とよめいささめやも松

赤嶋一 同上〇津あつとくはの海とれぐ
まのたちーれされおらあも

一も大人人の玉とくうらうん 橋小鴻一 山城 楯一 抄別極の
と江〇もゆくとくつとくさき世とくさふ

日一 たんこ〇もゆうたり子日の湯おす 那波一 抄別〇と志てれ
むあすを海松とのをれやよすらん

引のかるあ 武庫一 同右月やとらん 倚鴻一 同右〇位者のあつ人津の
けのうが船

つげたすひの海のさきあつてさう 野鴻一 淡海又回る多一 淡海よま
ひ城のちさおらうき浪風よあつて

草の野一海の海よ善すむ連ち〇ちがさての松志月うらまのさゆり葉よ波
こす風のあつぬ日さうれ安房よもさうれと〇あつすらこれ松志まうらさの

浪風すーわうひもゆひー 妹うみ海のまゆもくけよみ由又と江りもさそ
れん〇さうとくこれ松海うらまの油わけてとくかうとくさ松ゆるあまうか

葉盛巻九

たつ

海防考

香子千 乎發 ちつ中〇このあきむちり戸うひさき
さうちあーうもさきさきさきさき
大 土佐神の
小渡月

おくら 奥列足とつらうわす乃ぬおしくさきさき〇れくらさき
さうのあーまの人さきさきおれつとよつとつしと

草 揚別松又玖波と 油 ちろう松 雲津 〇伊勢志月月の
うけつあり 是回る丸 舟のさきさきさきさき

うらみの松 款冬 ちくちん〇おまつさきさき
のひらうら 口やれ づの松のめくさきさき

さきさきや 八十一 日ちら 松 山城千とせもつづ
くつせ 千さ 松 のさきさきさき

つにくよまやうこつさきさき小松 〇あおんさきさき
うさきさきあおみよ回る鶴とさきさき

人 びみそ 小鴻 城及〇さきさきさきさき
さきさき 城及〇さきさきさきさき

安礼 三河〇つづと舟とめさきさき
れさきさきさきさき

ののさきさきさきさきさき 荒藺 武蔵〇さき
さきさきさきさきさき

ののさきさきさきさきさき 〇白 あさきさき
さきさきさきさきさき

〇神 〇神 〇神 〇神 〇神 〇神 〇神 〇神 〇神 〇神

由良 紀列海防郡〇おれさきさき
さきさきさきさき

本綿 揚列 〇神
〇神

三保 〇神
〇神

宮 〇神
〇神

〇神
〇神

〇神
〇神

〇神
〇神

〇神
〇神

〇神
〇神

〇神
〇神

と漕戸へはやまをまーくうらさしお富のつもとありて
のめれさきとゆりゆす狩しとこれのけさくくすありて
みそめれ

大和のいもうめをさうめ乃ささの
秋秋この月比よりうらさしお富の
つみむら
お列のうらさしお富の足さりの

三浦一 奥が○志さうらの足さしお富の足さし
もたす こつ草あひみささしお富の足さし
志てれ

伊勢のいれよーんを思つてしお富の足さし
志てすきんを思お富被八雲の足さし
白一 紀列○志ささ

白羽一 志江あふ人の
白一 越中○志ささのありささ

三廻 万巻指さし又新撰六帖よ○わたの系ささ
入海の

せとりのーとふと河すうさのー鴻一和田三一
○めぐささぬわたの足さし車ぬねささのひの目数ささ
○車よわたの足さしとさいめささしお富の足さし

○鳥 十四 回ささ

うさ鴻 とささ
とささ とささ

とささ とささ
とささ とささ

とささ とささ
とささ とささ

とささ とささ
とささ とささ

とささ とささ
とささ とささ

とささ とささ
とささ とささ

とささ とささ
とささ とささ

とささ とささ
とささ とささ

とささ とささ
とささ とささ

とささ とささ
とささ とささ

とささ とささ
とささ とささ

おれらり 又お見一 同右隠さひおのりこの志 安藝○あさる

りり 又お見一 戸へあり少祿是宗祿也 彦一 び人より足勢志

りり 又お見一 〇いよの海は志木の志まも成たれやあ 志木一 ちるしこふ志がれ兄そやくたやくあ戸

を波一 〇いよの海は志木の志まも成たれやあ 志木一 ちるしこふ志がれ兄そやくたやくあ戸

を波一 〇いよの海は志木の志まも成たれやあ 志木一 ちるしこふ志がれ兄そやくたやくあ戸

を波一 〇いよの海は志木の志まも成たれやあ 志木一 ちるしこふ志がれ兄そやくたやくあ戸

を波一 〇いよの海は志木の志まも成たれやあ 志木一 ちるしこふ志がれ兄そやくたやくあ戸

を波一 〇いよの海は志木の志まも成たれやあ 志木一 ちるしこふ志がれ兄そやくたやくあ戸

を波一 〇いよの海は志木の志まも成たれやあ 志木一 ちるしこふ志がれ兄そやくたやくあ戸

を波一 〇いよの海は志木の志まも成たれやあ 志木一 ちるしこふ志がれ兄そやくたやくあ戸

を波一 〇いよの海は志木の志まも成たれやあ 志木一 ちるしこふ志がれ兄そやくたやくあ戸

を波一 〇いよの海は志木の志まも成たれやあ 志木一 ちるしこふ志がれ兄そやくたやくあ戸

を波一 〇いよの海は志木の志まも成たれやあ 志木一 ちるしこふ志がれ兄そやくたやくあ戸

を波一 〇いよの海は志木の志まも成たれやあ 志木一 ちるしこふ志がれ兄そやくたやくあ戸

を波一 〇いよの海は志木の志まも成たれやあ 志木一 ちるしこふ志がれ兄そやくたやくあ戸

を波一 〇いよの海は志木の志まも成たれやあ 志木一 ちるしこふ志がれ兄そやくたやくあ戸

を波一 〇いよの海は志木の志まも成たれやあ 志木一 ちるしこふ志がれ兄そやくたやくあ戸

を波一 〇いよの海は志木の志まも成たれやあ 志木一 ちるしこふ志がれ兄そやくたやくあ戸

を波一 〇いよの海は志木の志まも成たれやあ 志木一 ちるしこふ志がれ兄そやくたやくあ戸

を波一 〇いよの海は志木の志まも成たれやあ 志木一 ちるしこふ志がれ兄そやくたやくあ戸

を波一 〇いよの海は志木の志まも成たれやあ 志木一 ちるしこふ志がれ兄そやくたやくあ戸

人をもつらり 丹波の戦はあつてつらつらと戸 又与

残す 謝小島戸 といふ といふ といふ といふ といふ といふ

玉津 といふ といふ といふ といふ といふ といふ

田老 といふ といふ といふ といふ といふ といふ

竹 といふ といふ といふ といふ といふ といふ

多波礼 といふ といふ といふ といふ といふ といふ

多胡浦 といふ といふ といふ といふ といふ といふ

かたの といふ といふ といふ といふ といふ といふ

浦初 といふ といふ といふ といふ といふ といふ

字 といふ といふ といふ といふ といふ といふ

宇留間 といふ といふ といふ といふ といふ といふ

角 といふ といふ といふ といふ といふ といふ

長門 といふ といふ といふ といふ といふ といふ

家 といふ といふ といふ といふ といふ といふ

浦 といふ といふ といふ といふ といふ といふ

字 といふ といふ といふ といふ といふ といふ

宇留間 といふ といふ といふ といふ といふ といふ

角 といふ といふ といふ といふ といふ といふ

長門 といふ といふ といふ といふ といふ といふ

家 といふ といふ といふ といふ といふ といふ

浦 といふ といふ といふ といふ といふ といふ

字 といふ といふ といふ といふ といふ といふ

と江回る多り一書記列もそのわのうらのむそひありぬ淡海もそ〇釣糸
きふよりきききいゆみすけくよぞと海のお戸の船ふあふらんむもふ海ま
さ **漁登** 〇いふささくあか木さうてふのこの志戸山 奥一 橋津〇詠
むさくみ也たれれ志戸山 八雲伝説を 奥小一 〇い
まふ舟いつをすとすしりも **松平川** 江さく神 奥小一 〇い
こねちとりのこもくれはつづの海やおまのあり戸子波のうらみ也隠岐よ
き回も後ひさし一樹日免産摩もとる回る〇あつさうしこまのあり戸子
まありとねやまづつり **奥津信** 長門おく 老津一 三河〇老津信
よ八重乃志戸田 戸へて 志戸り神や
つさむらんぬもささう **たれふら** 〇あさちとらや 大一 〇い
そわうとくれう **奥津信** 長門おく 老津一 三河〇老津信
〇この大志戸志まーともいふとあーふのもたきとまぬ〇大志戸よあを
こひしとや舟のくもくを人よあひこてしりか〇こふるるといえるもよ
大志まの舟うとん行くて年れるあー〇都うし急くりひりく大志戸の
たのうひらハ塩みらよりりあううへ人のうへしりくあわくりて伊豆を

大和 〇あ戸さうけひるのまうらと槽くれハありーのまよもやま
まみもやまも志まも日本のおもとをこりかくとん定るに記
御一 〇い **八代** 〇い **奥津信** 長門おく 老津一 三河〇老津信
〇い **大和** 〇あ戸さうけひるのまうらと槽くれハありーのまよもやま
まみもやまも志まも日本のおもとをこりかくとん定るに記
御一 〇い **八代** 〇い **奥津信** 長門おく 老津一 三河〇老津信
〇い **大和** 〇あ戸さうけひるのまうらと槽くれハありーのまよもやま
まみもやまも志まも日本のおもとをこりかくとん定るに記
御一 〇い **八代** 〇い **奥津信** 長門おく 老津一 三河〇老津信

御一 〇い **八代** 〇い **奥津信** 長門おく 老津一 三河〇老津信
〇い **大和** 〇あ戸さうけひるのまうらと槽くれハありーのまよもやま
まみもやまも志まも日本のおもとをこりかくとん定るに記
御一 〇い **八代** 〇い **奥津信** 長門おく 老津一 三河〇老津信
〇い **大和** 〇あ戸さうけひるのまうらと槽くれハありーのまよもやま
まみもやまも志まも日本のおもとをこりかくとん定るに記
御一 〇い **八代** 〇い **奥津信** 長門おく 老津一 三河〇老津信

松賀浦 〇い **奥津信** 長門おく 老津一 三河〇老津信
〇い **大和** 〇あ戸さうけひるのまうらと槽くれハありーのまよもやま
まみもやまも志まも日本のおもとをこりかくとん定るに記
御一 〇い **八代** 〇い **奥津信** 長門おく 老津一 三河〇老津信
〇い **大和** 〇あ戸さうけひるのまうらと槽くれハありーのまよもやま
まみもやまも志まも日本のおもとをこりかくとん定るに記
御一 〇い **八代** 〇い **奥津信** 長門おく 老津一 三河〇老津信

繪 〇い **奥津信** 長門おく 老津一 三河〇老津信
〇い **大和** 〇あ戸さうけひるのまうらと槽くれハありーのまよもやま
まみもやまも志まも日本のおもとをこりかくとん定るに記
御一 〇い **八代** 〇い **奥津信** 長門おく 老津一 三河〇老津信
〇い **大和** 〇あ戸さうけひるのまうらと槽くれハありーのまよもやま
まみもやまも志まも日本のおもとをこりかくとん定るに記
御一 〇い **八代** 〇い **奥津信** 長門おく 老津一 三河〇老津信

三河地方

浦班一 肥前 浪一 紀列 志一 浪のあひたを 志一 我思へ 志一 志

一 船前一 人の舟を 神一 神

○岸一 十五 日一 同 前一 前 山一 山 内一 内 小一 小 あり一 あり

河岸一 河 山一 山 此一 此 山一 山 此一 此 山一 山 此一 此

乃一 乃 南一 南 乃一 乃 乃一 乃 乃一 乃 乃一 乃 乃一 乃

あ一 あ ぬ一 ぬ ぬ一 ぬ ぬ一 ぬ ぬ一 ぬ ぬ一 ぬ ぬ一 ぬ

奥津一 奥津 雲井一 雲井 井一 井 井一 井 井一 井 井一 井 井一 井

わ一 わ 山一 山 山一 山 山一 山 山一 山 山一 山 山一 山

浪一 浪 松一 松 松一 松 松一 松 松一 松 松一 松 松一 松

紀列一 紀列 松一 松 松一 松 松一 松 松一 松 松一 松 松一 松

松一 松 松一 松 松一 松 松一 松 松一 松 松一 松 松一 松

村松一 村松 藤江一 藤江 藤江一 藤江 藤江一 藤江 藤江一 藤江 藤江一 藤江 藤江一 藤江

む一 む 保一 保 保一 保 保一 保 保一 保 保一 保 保一 保

ま一 ま 木一 木 木一 木 木一 木 木一 木 木一 木 木一 木

つ一 つ 安一 安 安一 安 安一 安 安一 安 安一 安 安一 安

ひ一 ひ 安一 安 安一 安 安一 安 安一 安 安一 安 安一 安

る一 る 淡一 淡 淡一 淡 淡一 淡 淡一 淡 淡一 淡 淡一 淡

と一 と 阿一 阿 阿一 阿 阿一 阿 阿一 阿 阿一 阿 阿一 阿

を一 を 阿一 阿 阿一 阿 阿一 阿 阿一 阿 阿一 阿 阿一 阿

小一 小 小一 小 小一 小 小一 小 小一 小 小一 小 小一 小

三河地方

三河地方

かこあふ **授者** あせりしんれをまこときの志所を漢人とむり

備小 ひつ中〇やましらのさひれあし海とて **霧** 大す

水 肥後葦那あすちとり〇まき

水 ひとけのあまれさつ志戸〇あ

水 つ志戸よゆうし波ら

水 あゆめ又見と三波をえ

水 月島向

水 よみおれは船志戸神のえ

水 ゆまふこれめく

水 柱ふと

水 て後を方代

水 陸奥志

水 国九折の耳れ

水 又うけふあえ

水 跡乃るく思出

水 ありそあ

水 後れを日本

水 と

水 磯城

水 信太

水 三

水 江

ひーころりーうり人乃わされとぬれぬー あさき

きしーんよ あさき 漢ーあーりそのあさき入ー引佐細ー は

ますけあつてえ○きつあふ見伊ささ細江のみとつりあれを 漢 松ー

たのこてあさきものどりり細のさ○きほりますけりま 漢 松ー

日名 細 細ー ○佐者の母をこしあさきとえれたつ 堀ー 移別○あよきて

つーあうりまにーえれまやこもあーつよハ勝子多五月為座玉あうり

ーと大老乃三舟こうんますけり月芦のわのみうくれえとつりおふ

見大宮人海部多足船さきとーつた物志があーつりたなくーしと舟船江こ

くついで舟船はわりしたつてけり舟さかふとつとあは江をせそけり

ハ船一そりるくちお入るさゆへハ我をよ漕入ーんとあさきふくろま

舟さほあとい○まらち船さつたがまこの足とをまきうりまらたなくあ

日ゆ 部 部馬部ー 移別部馬よ 後磨入ー 信のや 和参ー 紀別

小野肉ー 伊勢又信海一秋れ 小野漢ー 同よ志うと日あ 和四

入ー 移別○極風をなるたの松よ書 可思布ー 後前 余右入ー

足月 部 部馬部ー まきとま 後磨入ー うらとま

津馮ー 紀別 たりけくつー つれ国万代ふまみうはり 玉ー

ちちせんまうりのあー月あーりりと船戸こも玉藤船松物れあうさ

花つの国名ありうまよあやめ戸こも五月為堂むらまき乃とつり

ハし乃玉江とろくつり又むまのれ多のともあつ 陸奥これと入

ちちちせんや又船の玉江ともろくつり 江のむつり

江照月芦あやめ船 つれ国んをつと 後磨入ー あーのもおけれま

あやめこま 移 波ー つれ国んをつと 後磨入ー あーのもおけれま

まほろくむりーそすくとたく虫のやこまあーしのかつ書筆のあまふね月と

備北にわくまかとのなるまこれ
なり建てもせん人のあつるを
室一 武庫入一
つれ国

より千多
大蔵入一
山城○抄かゝるの入江ひくくならん
め人のうゝの田井もろさたうし
大搦田

入一 つの国月邦
草香一
ちくせん○くさうそのわりしよあさうあ
しふられあふらうく一なる一

てふ間入一
下総むとく月昔みしぬこの一
ふせ入一
勢ゆゆ

尾尾老おろさむら月浦
蘆原一
つこの国○おぬく漕船ふねのあ
わうの江さう船う久一うむりま

依江一 同上つの国よ
安野細一
勢守堀一
伊てく

丹後○足川の江のうゝのく官を神さひてふつひたりてう
らの松風○あうさよを明ええつら一尺つめこのうう海り

丹後○足川の江のうゝのく官を神さひてふつひたりてう
らの松風○あうさよを明ええつら一尺つめこのうう海り

の足一戸江共うへふありあうむけを月をうれあ志
飛鳥居三鴻の玉江せそへより又三鴻江の入江せり
飛鳥居細一

多陸基磯郡も
取懸一
揚津国ぬかまもろ
あちのふ心志

つちく
月ゆふあひの戸神代○かりりりら松地つとひては
志考とくく金すこの江の月教るしてせよすこの江意志うひわれ兼鶴や

そいぬりくくをゆを砂心やすこの江日夜のむ時うつせうひゆふ玉と
らふやま綱
住吉堀一
又さ足吉油一共りり

だめ一けさ
○淺 十七

揖保淺
揚州○あう教よねきてふりてう
射水一
越中
猪名野

揚州○あう教よねきてふりてう
射水一
越中
猪名野

揚州○あう教よねきてふりてう
射水一
越中
猪名野

揚州○あう教よねきてふりてう
射水一
越中
猪名野

揚州○あう教よねきてふりてう
射水一
越中
猪名野

揚州○あう教よねきてふりてう
射水一
越中
猪名野

揚州○あう教よねきてふりてう
射水一
越中
猪名野

揚州○あう教よねきてふりてう
射水一
越中
猪名野

かろぬふとのこまやうらむらん **さ砂** 揚別ち **神** ちくどんり

舟里の志凱へあこ波うす枕後の油のうき月涙のよ **那波** 揚別○

れくしあそくちより我袖の足ふとわあひのときり **那波** 揚別の那

信れあーれかのくくと明日僕よ **那波** ○波さそくまこの足か

ちより鳴く此外ふあふるり浮又目 **那波** の浦風ふ入はれちよりむ

れくしあ **十一** を江海そまといわそちりつくる **的形** ○人志

く **十一** あう舟とめ草むいといちりき **的形** ○人志

まぬきとくそなるめま **意** 伊勢 **神** れみふとゆ

乃尺子とのち多浪よゆれつ **意** 伊勢 **神** れみふとゆ

りる海○あそち海と漕まこらむと思へ **何度** あふ尺あさ

ともあーれまるとれさそさきり **何度** こまろ船 **何野**

伊勢○尺わりの月を杖なるま **由良** 此別ひろふてふま

よふまがふおめあめく尺ま **由良** また小舟又極震月

と **水笠** あふ尺○あふ尺りあひひくく吹り **清**

揚別大 **白菱** と我たうえ松のけのりあうけ **清**

舟名 **白菱** て舟人用れたよりとちる常の **清** を江山たろ

とちる船よりとちる船と舟出まらひらの **清** 張別ちりまらり

松を色 **津波** 津波 **津風** 津風 **津船** 津船 **津極風**

一 **清極** 清極 **ひ** ひ **石** 石 **此** 此 **船** 船 **乃** 乃 **の** の **り** り **め** め

の **小** 小 **嶋** 嶋 **と** と **ゆ** ゆ **り** り **ゆ** ゆ **り** り **て** て

の **釣** 釣 **船** 船 **の** の **も** も **く** く **つ** つ **那** 那 **波** 波 **経** 経 **者** 者 **回** 回 **き** き **の** の **松** 松 **鳴** 鳴 **尾** 尾 **玉**

江 **明** 明 **石** 石 **風** 風 **早** 早 **田** 田 **あ** あ **ま** ま **淡** 淡 **路** 路 **鳴** 鳴 **戸** 戸 **あ** あ **ま** ま

たるを紺 **志が** 同上のさき **き師** 伊勢志が **これの** 系

つるを糸 **志が** 火子日松 **肥** 肥が少く少人日 **阿素** 肥後 **博多** 〇うか

あま明 **松浦** 肥が少く少人日 **阿素** 肥後 **博多** 〇うか

〇津 十九

さ津 乃国而生郡〇久望のあまのさくめ志舟を **敷** 同上〇江あ

きん 乃の波 **鄂波** 〇なふさつは細絲をまりぬと穿しこひしを

ろまの若葉うえり **大伴** 〇はらん月急舟れり松系又

〇大伴のさしとん伊り **朴** 〇の国〇位者の急る

〇白船のさつ **樫** 〇のさよおであら月見こそり

〇我令海 **樫** 〇のさよおであら月見こそり

〇白船のさつ **樫** 〇のさよおであら月見こそり

〇白船のさつ **樫** 〇のさよおであら月見こそり

〇白船のさつ **樫** 〇のさよおであら月見こそり

〇白船のさつ **樫** 〇のさよおであら月見こそり

〇白船のさつ **樫** 〇のさよおであら月見こそり

〇白船のさつ **樫** 〇のさよおであら月見こそり

〇白船のさつ **樫** 〇のさよおであら月見こそり

〇泊

武庫泊 枋別〇位者の急るつみきてみき **大伴** 同上松風

つら舟お 日又大とる此 **石** りりか **唐琴** 細お○鉄

て大船 さうよつうことと波の誌すけて **甕** 後中○吹羽物とあふ千弘も

風そ引たる松りさうととより もりか **竹** あちせん一よととめ **石や** 紀が

の唐何寄り 後後のひも **流古** ちくせし○風吹の物えつ白はう

らぬ志やも油のゆれり こみとのこのと戸里ふあまう

唐 ちくせし志摩郡の海にうひをるのまじうとさういり

日とあれ共家 ちなうり一人のゆく志のうとと戸里のこのうととさういり

那波門 揚列○まうとと紙と死出とこれの神 **那** ○吹えう小嵐

てふこのとつら あちとい約れたきふ雲とさうひく **宇鴻** いせしんあう

志のれ月 志のれ月 **由良** 紀列やと家うか人 **明石** 志まとの宿乃

志のれ月 志のれ月 **大鴻** いせん○人志れまわ

といたくて年 あまるといふはふ大鴻乃なる **海乃鴻** 八雲内院は

迫 候別廉○あはさうれひおれなうちと槽くれえあ **漢路迫**

宝迫 のとよりやまとい海み也灯のあ **虫明迫** 後前○風あしふ忠

海迫 りると戸ひられ浦よあ **薄摩迫** 明のせと此夕多

難 よなうひうしすねとの船人○執うつと油ちうえわのわきうと月 **角**

葦屋難 も藤よまむ虫あき乃せと新船のよりへあうせよれえつ志がうせ

浪奇 扱列あーれをのせみあ志たのせふ **浪前** 同上志まき

あや 大嶋ト 日おのあやとぬ祢今や出らん大嶋
のふたの志が因あやとぬるり 播磨くしーれ
こをえ

○断 サ三 日名お

つも割つしうえー 不の姐 くー 山崎のそとの本 あと

ーのそり 意れー ー瀬 ういむなれー ーや

そあもく ちりゆく ぼお糸れー けろふの忠

値ーくこー 八雲 のー 同上 おりさうれー 同上

あといろー 同上 神南倫ー 大和○おちりーのえてみくー

らん○神ふひのうらまふされの若小 稻ー 未勘○年とあふあふこい

○瀬 廿四 日名お

あさ瀬 ぬり 白糸 くやー ーとあやえくこー

くこアー ぬがアー ーくミのー ひろー あふー

いせく や 同上 患ーえー 同上 ぢらー くしほの後せー

搦ーわくアー ーく右くぬー ーれ井くおひと

つーおなこちなひてゆく水 ぢわくさー ぢ

トあまー 大井乃ー みる海乃ー 大和八雲の流但 八十

ト七ー 内接 海ーよれー ぢーまさー ーとせく

せこよせり ぢく 割そー 小坂 戸籠ー 山城○まのう

あよ尺そえーキとせのりのりのへて 山崎ー 日向○秋風ー山かぶ

おろけのくさ はあつうと 搦入ととの搦 ○搦のよとれ搦せふあくとん石

良 き江あ ちり ちり 一 船清 ○搦のよとれ搦せふあくとん石

船清 ○搦のよとれ搦せふあくとん石 一 河の ○搦のよとれ搦せふあくとん石

あさ ○搦のよとれ搦せふあくとん石 一 かの ○搦のよとれ搦せふあくとん石

れ ○搦のよとれ搦せふあくとん石 一 海と ○搦のよとれ搦せふあくとん石

一 ○搦のよとれ搦せふあくとん石 一 海と ○搦のよとれ搦せふあくとん石

○ 瀧 サ五 回若所

た ○搦のよとれ搦せふあくとん石 一 糸 ○搦のよとれ搦せふあくとん石

一 ○搦のよとれ搦せふあくとん石 一 津浪 つのみながく

一 ○搦のよとれ搦せふあくとん石 一 川石 ○搦のよとれ搦せふあくとん石

一 ○搦のよとれ搦せふあくとん石 一 花 ○搦のよとれ搦せふあくとん石

一 ○搦のよとれ搦せふあくとん石 一 花 ○搦のよとれ搦せふあくとん石

一 ○搦のよとれ搦せふあくとん石 一 花 ○搦のよとれ搦せふあくとん石

一 ○搦のよとれ搦せふあくとん石 一 花 ○搦のよとれ搦せふあくとん石

一 ○搦のよとれ搦せふあくとん石 一 花 ○搦のよとれ搦せふあくとん石

一 ○搦のよとれ搦せふあくとん石 一 花 ○搦のよとれ搦せふあくとん石

一 ○搦のよとれ搦せふあくとん石 一 花 ○搦のよとれ搦せふあくとん石

一 ○搦のよとれ搦せふあくとん石 一 花 ○搦のよとれ搦せふあくとん石

一 ○搦のよとれ搦せふあくとん石 一 花 ○搦のよとれ搦せふあくとん石

一 ○搦のよとれ搦せふあくとん石 一 花 ○搦のよとれ搦せふあくとん石

一 ○搦のよとれ搦せふあくとん石 一 花 ○搦のよとれ搦せふあくとん石

遠坂美土

四十七

石入一 湯のうへにわき湯 稻荷一 月〇たきの水増のすすまひりか
の夜のたきとらうくせと

りくしむせれ一 八雲 音せ一 大和の音せ乃清海内の大まふたき
のううちえりれく音せのたま共

ふつせめのゆくらゆふ花水月みゆえ持いせき志がそあ 稻削一 月〇
ゆえ一 弘明のゆえせれ中ふ落初てあうあしたちたきり

ちのうさゆされとや水廟山せれら云 宮一 月〇今も又終てもえんやいうけり
あつてさつとりのうあふとれりかぬ

あつてさつとりのうあふとれりかぬ 布留一 月〇今も又終てもえんやいうけり
あつてさつとりのうあふとれりかぬ

あつてさつとりのうあふとれりかぬ 驚一 月〇今も又終てもえんやいうけり
あつてさつとりのうあふとれりかぬ

あつてさつとりのうあふとれりかぬ 天川是やなりまは末世およさらとあまつしぬくま交五月あ月ふあらさ千
尋ふあらし様日よみうさ月よそさらす白山娘のまむせゆしにありそく
て水よん雲のつ 箕面一 月〇志ねくさあつとそあふたきの
こ雲の上よりあ

あつてさつとりのうあふとれりかぬ ろふの一 八雲 鈴康一 伊勢やそそ木の
あつてさつとりのうあふとれりかぬ

あつてさつとりのうあふとれりかぬ 那響一 肥後〇せとよと
あつてさつとりのうあふとれりかぬ

あつてさつとりのうあふとれりかぬ 此のうらむをささく 音せ一 月〇志ねくさあつとそあふたきの
あつてさつとりのうあふとれりかぬ

あつてさつとりのうあふとれりかぬ 中つとりのうあふとれりかぬ 湯一 湯
あつてさつとりのうあふとれりかぬ

あつてさつとりのうあふとれりかぬ 三重一 肥後〇せとよと 湯一 湯
あつてさつとりのうあふとれりかぬ

あつてさつとりのうあふとれりかぬ 〇渡 廿六 回る糸

あつてさつとりのうあふとれりかぬ 〇渡 廿七 回る糸

あつてさつとりのうあふとれりかぬ 〇渡 廿七 回る糸

あつてさつとりのうあふとれりかぬ 〇渡 廿七 回る糸

あつてさつとりのうあふとれりかぬ 〇渡 廿七 回る糸

あつてさつとりのうあふとれりかぬ 〇渡 廿七 回る糸

あつてさつとりのうあふとれりかぬ 〇渡 廿七 回る糸

あつてさつとりのうあふとれりかぬ 〇渡 廿七 回る糸

あつてさつとりのうあふとれりかぬ 〇渡 廿七 回る糸

徳田集

百一

わりのせりり渡りち人乃わんれとぬれぬ

あさむわつるせ あさ海一々河一ころれ一の天

川一やそせ一ませとわんれ○もや川の流さりあや

にじうへるまいとも新六 ひろせ海わんれおさうあさまよりそ

船しし勢の後徳登八雲出流 稲糸一奥列風 猪め一揚列

井半一山城玉を志うし兄 小田一後中○多めれ月よ

巻推一後前○船おさう沖つ 井乃また里海うらくみ ころの

籠一加賀山 俊一山城町多 神

對馬一尾張の立振

武庫一揚列

桑吳一越中具あ 中河一上野

宇治一山城あちろ

草一揚列 久我一

國持一同右○部人あり

山多一大和○草 八橋一三河

や乃一揚列 猪一同右

朝妻一上江 蟻戸一紀列

儀一越中

明石一八雲 佐登一大和家 所がれ一上

本津一山城 美豆一山城

ゆら乃と一

うひぢれう向のまたー守とり **三鴻** つもの三 伊勢〇見また

ひうあう年れくれうか 伊波の上みまうがよか **志賀** 志賀 **志賀** 志賀

ぬあのかみれと田渡 **志賀** 志賀 **志賀** 志賀

三河〇約人もまをまつらよあうさうのぼや核のとまり成らん〇ゆげあ

まよとまりともあうさうのわ **志賀** 志賀 **志賀** 志賀

たまなれしーたりかわけんそ **志賀** 志賀 **志賀** 志賀

まぬあうの大輪田〇羽りうげあよあつひ **志賀** 志賀 **志賀** 志賀

よとむとも若のんよああめめわも **志賀** 志賀 **志賀** 志賀

くとり **志賀** 志賀 **志賀** 志賀

〇 **志賀** 志賀 **志賀** 志賀

海乃みくり **志賀** 志賀 **志賀** 志賀

つもく **志賀** 志賀 **志賀** 志賀

み **志賀** 志賀 **志賀** 志賀

の祢のよも **志賀** 志賀 **志賀** 志賀

牙 **志賀** 志賀 **志賀** 志賀

壑田 **志賀** 志賀 **志賀** 志賀

波澤 **志賀** 志賀 **志賀** 志賀

上 **志賀** 志賀 **志賀** 志賀

井 **志賀** 志賀 **志賀** 志賀

風 **志賀** 志賀 **志賀** 志賀

伊勢〇見また

志賀

志賀

志賀

志賀

志賀

志賀

志賀

志賀

志賀

志賀

志賀

志賀

志賀

志賀

志賀

志賀

志賀

志賀

志賀

一の 武列八 言以流 たるゆえ乃一の 奥列 足むしれ一

○澤 サ九 曰名茶

あさゆも 名不るそ 登一 色一 此みくら一 草一

水一乃杜あ一の 螢一乃祿せり一 色れ一 睡

ふろ一あくの 匠一 湯澤乃一 万世 名山 一万

廣一 山城昔形那さむさーあうくくこてー灯の音 大 曰名 徳一 曰名

曰名あ 曰月あき杜 伏見一 若多を鴨 井平一 蛙山吹 海一 つれお人む祿きり

きさあさあも小 飛せりくけさ 布留野一 大和わうか忌水いそ 高濱一 曰名

混音一 あつ中 混音れさあめありそよさう いやくくーと名おはゆ 遇一 さうりあ

一 すうり富士お螢○あぬらくまむれとわりこあうくを富士のさ祿の家

お史とお刺し煙とみ氣と相和してまのが内史もあ乃わあまつうま

あつこしあまそしたるさこもといひあやけりうさこものこといひこくくもいふ初こ

うまようへてんとわしれあうしるのうらうま鳴海の如くきこゆるとよめ

れあや一流あ鳴海ふあうすなりうさこ書くあれさこも富士の山よりさこ

あつあありもああきと鳴海とまはし一の山よを白砂ありこへたりま

くさるハ一定く人のたあくおつれてつさこくさりて一板の回よ上へあ

た乃むれ一 武列八 原登一 三の三まきさ

○池 サ 曰名茶

池乃あえさ一 色一乃みくら一の ぬるハ一の

え川もさ一乃そこ あちまつ一、そこ 此心りひ いけこといへり

乃白浪波ふよせそ 家持あやい巻うそ 一此見草一 磯うさあり

みてやまうづれるん○がゑるをいつし連乃いげのうま
ぬるもくろくーき胞よせよしそまひ連あしきー草
こげむを方 生田ー つの国つく度うつらきむを
代或ふ舟後 扱ふもをらん月芦を草巻 一志ー 伊勢橋 原

つこの国玉をれ 武列八 大和八
一 屯蓋月為お 武列八 小志乃ー 雲水説 小ひ

たのー 安藝八 十市ー 日右三くりみハ又肉めきよと城
雲水説 武列八 小志乃のー つむ使にうたはるのい

あふ尺い 小崎ー 武列八のい 扱ふをのー 奥列○思へとも人のと
もうひさ 武列八のい 扱ふをのー つむ使にうたはるのい

けしうりぬ 撞ー 大和○うねのいげれ入はめくはうまもす
つむ使にうたはるのい 扱ふをのー 特道ー

加賀○ととい人うららのいげまむ 唐入ー 日右 雲田ー ああ
とーの立てもめても悉とーそふ 玉も 尺登

唐人ー 日右 勝間田ー 下総蓮も井原くこくひはくお鯉つれ
つくまうめてー かん 扱ふをのー 因

垣安ー 日右 扱ふをのー 扱ふをのー 扱ふをのー

唐入ー 扱ふをのー 扱ふをのー 扱ふをのー

中しうりや 園ー 一条北大文 扱ふをのー 扱ふをのー

あふ尺い 双ー 山城○あふ尺い 扱ふをのー 扱ふをのー

代あやめ 扱ふをのー 扱ふをのー 扱ふをのー

やまをれー 日右 扱ふをのー 扱ふをのー

ぬるもくろく 浮奴ー 肥後 扱ふをのー 扱ふをのー

小菰を望ふぬハもて連 扱ふをのー 扱ふをのー

立ていげよ 雲田ー 大和意うふぬあやめ扱ふもー 扱ふも

吹ー 日右 藤原ー 日右 扱ふをのー 扱ふをのー

や八雲水説 昆陽ー 扱ふをのー 扱ふをのー

月寺月寺 八雲八雲 此所此所のつらして積のひそをそ
き葉き葉 八雲八雲 此所此所のつらして積のひそをそ

蘆間蘆間 抄別抄別のあ華のあ一戸乃りけの女をこみ果を志敷
虫の糸そりためくあの方はあを縁足よりかえ 秋山

山城月建末元八十五 栲澤栲澤 大和玉を所月わきりも 佐野佐野 海内

作太作太 目右海 稜山稜山 此きりかろ山此いけれと 清滝

目右や 全救全救 是あひりれう建をつじとや 耳垂耳垂 日右〇足

三河 文地文地 三海 廣澤廣澤 山城所山城所の柳ま五月あ 彦高根

〇つらしてまき度の方わの地あ 〇つらしてまき度の方わの地あ

〇つらしてまき度の方わの地あ 〇つらしてまき度の方わの地あ

〇つらしてまき度の方わの地あ 〇つらしてまき度の方わの地あ

〇つらしてまき度の方わの地あ 〇つらしてまき度の方わの地あ

池の境池の境 〇つらしてまき度の方わの地あ 〇つらしてまき度の方わの地あ

人め人め 〇つらしてまき度の方わの地あ 〇つらしてまき度の方わの地あ

〇つらしてまき度の方わの地あ 〇つらしてまき度の方わの地あ

〇つらしてまき度の方わの地あ 〇つらしてまき度の方わの地あ

〇つらしてまき度の方わの地あ 〇つらしてまき度の方わの地あ

〇つらしてまき度の方わの地あ 〇つらしてまき度の方わの地あ

〇つらしてまき度の方わの地あ 〇つらしてまき度の方わの地あ

〇つらしてまき度の方わの地あ 〇つらしてまき度の方わの地あ

〇つらしてまき度の方わの地あ 〇つらしてまき度の方わの地あ

〇つらしてまき度の方わの地あ 〇つらしてまき度の方わの地あ

〇つらしてまき度の方わの地あ 〇つらしてまき度の方わの地あ

〇つらしてまき度の方わの地あ 〇つらしてまき度の方わの地あ

養正

二二〇

○海 廿二

つらみそ たうけつらみろくこせ 戸けー兼ー

○とーぬれんけー たえそふたぢ 田漢也

てぬれ志やとぬれしれーの勇也

○井 廿三 田名

山井 山のおとれ 山井を渡りしり

石ー志ー ありのぬ

つーおほくと おほくと

かーあー おほくと

つーのつー おほくと

わの おほくと

おー おほくと

つー おほくと

いー おほくと

縮 おほくと

堀 おほくと

常盤 おほくと

小堀 おほくと

六回山 おほくと

奥一 奥列北の名 志一 いせのわらきゆくまやこのうこのま 鴨一

三條町町来 鴨一 鴨集所也 龜一 鴨列を天王寺方代よめれ龜井のあふころと 玉一 城山

又を江市千とをさうけてむき小納涼松山 竹原石一 大和野田の山五 月面の比

玉一 玉のけのー 志一 志の○若きー 田

中一 紀列 山吹 堤一 ○まくりわのそゆうめやれけと 田

傳中 ありー乃山れ一 志江八雲流 山一 山城三條坊門小茶持

ひまふ牛のーつてふあうのま是く 山道のー 伊勢神のい 増

丹波の海一 丹波の海とますのの清も積 美間一 下総のうつ志のまの

尼ぎん跡 松一 ひつ中敷と丹波のともんら 松井のあふとむ 志多一

山激又ましくさうくれりくは縁あしん あさりけのしー 奥列 懸

一戸 一条小奈河院西角又号井戸 天橋一 山激六条南宮町奈捕親

佐良志一 志の国○尺くらすのかりよむうくうまうししぬ さうめ

り一 あふ尺うさ 志一 下総の東海にきーてあんともんあふ さく

つららの三井のうをりり 三吉野山一 日ちみと吉野山井せむつら

まきわりのりけり 志一 あふ尺圍城さむのそ 湯野一 中内門水

さのりしー あふと見あふりうを 志一 志の○若きー 田

芝付田一 志列尾 榎葉一 大和岩湯 寺ありせり一 山ちろ大原八雲 せ

○温泉 廿四 日名系

塩温 いけろー 浜一 右と左 けろーのゆ ゆり九刑

のふ **伊豫** | ○つよのゆのぬけたを伊くつ敷きて予系う人ま **走** | ○いつの国出

一 三極の神なしくも志 **那須** | 下野那須乃郡神社ありおそそく世と

大餉 | 志かの○きの子ハまごひか **鹿** | 同上又

温 **七久** | 目○つみもせす悲み涙をつくすうか **蘆** | お横

り **浦** | こや七くりれいてゆるう **走** | おの国

世 **浦** | まへらこ乃浦此走 **走** | りせ

浦 | まへらこ乃浦此走 **走** | りせ

日 **浦** | 同上○おかつのおまのゆひちえて

ゆ **浦** | 同上○おかつのおまのゆひちえて

浦 | 同上○おかつのおまのゆひちえて

朝 **浦** | おえつ志やあひ

り **浦** | おえつ志やあひ

も **浦** | おえつ志やあひ

ひ **浦** | おえつ志やあひ

い **浦** | おえつ志やあひ

な **浦** | おえつ志やあひ

は **浦** | おえつ志やあひ

は **浦** | おえつ志やあひ

は **浦** | おえつ志やあひ

伊勢物鏡のねえい志くあそよ付て盗人をもとりし

彼とあり給ともあしうみとら勢田山といりんと

てふをくくしとく

わりの身こそす

松山のゆく又候

好忠

う

已上二のうき物よふ大隅薩摩のり建れ国とくやふ大行り漢倫

こ介也五月のふをこ

あし

海防あり

しをちるやとふ

後抄

雲の

やう

志すあよま

雲の

煙れ

ゆふら

あ足の名とくし

ゆくめ

同上

いさう

あし

あし

あし

のゆ

あし

あし

あし

あし

あし

あし

あし

あし

あし

あし

あし

あし

あし

あし

あし

あし

あし

あし

あし

あし

あし

あし

あし

あし

あし

あし

あし

あし

あし

あし

あし

あし

あし

くくんとひの一はふ馬をし書海や成ふ未志とくけつをせ又とあつたる人を
しせ又ふうたふこととみ洞真のふもさ寧ろひとけくくつ洞れ極思ふりる元
さなくさひくくりつひみ結のさ
くくくくく人の共み況ありとく

見るんおうりふ 細波 雲れーん ちかあひ

もうのふーきむらー 清波也 うたこちあま

見るそくれおめく心ぢれ本 まやせよめく

珠みおも

○氷 廿八 付お宝海をこわくをとり遊をハこがれとよめを湖
ひよめり

朝水 暮りよくこくちな
うしろー冬ー霜ー 萩のこが河ー

池の勢ーみえものーもえなりしーみおー 八雲
山後

薄ー 二がまの

もらひ 清波もりみと品書
志こちある 二がりら
む戸氷 八雲

西院 一の鏡 ひもゆえ 綴後と書名のくくえのくくなるを
日れ親ふ水のこがけををりこ
らや亦産むふお而鏡と書と伝よふ

まこち運れ おう今とまらししと 後撰 ーおと

清くもけやうぬ忠ぼあの一 うとこゆりけり

お糸とら海せ薄ー 一志おげり 氷家 身ハ仁徳と皇六
十二年五月額田

大中亮皇子國鷄と狩りし時皇子自山上登る地を我め盧遣使令
見おくも時婆娑始けり弟我とあつく草とよまよあくとゆり

丹波

宇多 山城 松崎 津宮 己上皇末皮を赤く
他者時丹波津也

お宝の 心室れわさる 心まろ 徳成ひの 妙おし 二がり
ものや

○柵 廿九

おてれおろくえ水の柵せく乃一は乃一雲此

一風のー風のーはうろ志うろえ花此ー神乃

一むー お括く 大井ゆ 志うろむととー城せて 古と○扶杖と志の うみあせて写廉と

ふありそもあの柵しあうさうを越てうろむるも志うろむ又さ 志うろえてとら也をむえ又志うろ尺あせてとんと一あ舞うら也 京の

一何をーお志うろむ行乃わ進くさ巻井せま

せくの井くぬ 井せまのひすをとくふ原の藤

えよよとむび氷 井勢さふめく流浪 何うひ乃園

新六井せまと○海そひの廟のゆろ井お控てうれ尺と乃ろまてふや ちう

○漂標 四十 国史孤波江よ始立漂標ふ位とりのもふをそととて くととむと玉佐日記よりえり

ふと流くー カとつくすうたふうとくくむ 見えしちうのう

とよめおろ ちあうろく山 何とつる

防と詠し水 せうあく 天此何お乃えとととよめあま くと志流

越而水のあうふあまを漂とふろれ志うろく物と志る亦や又ハ 井とともしととるくハ木へ海ぬ江の連とあう一夫畏ハ海く

多ハ 江く 志う流くー 是くえとつ くのろま うすも乃みと流く志

くらのと海 およたて流えと流く志 あま乃よ

あーるー わくも志流ーれー

○橋 四十一 日る本

あまの橋 田ー田木ーはるーうけー山乃うあ

一音乃うせーたまー石ー 忠橋をふの橋 せよめろを 志うろけ

流く田木ー田木乃一ー捨ー いちのひ ぬれー

の儀乃ち物志くろ摺瓦又ふたまるくはく多摺
とくし物のはをわ戸へのたかりとくり
Pも壁をゆくあも
ひの摺やとくし
中一歩一
あすりくも
くらまの一
玉一

船一 おさ津一 足一 禁中り ひろ一 志まの津一 是

一函宮れ吉 あそ一 お祭一 戸こころあふ うら一 あまいりふそ
つやとくし よああしす や八雲伝説

佐一 ぼそ一 雲のうけ一 禁中 肉一 大内なとよ うさ

ゆえのわさきる 又只うさくさのり一 一のほめあめ

小あふひとつたか一 そ扱こ後多一 或ハ天子日とつげ

せあり一やとくし 天の そ扱こ後多一 祓 八雲伝説

かふ乃一 八雲伝説 とくくもれ一 回よ 一乃けたおつ

ゆき乃一 月お また乃 志一 日前 志まのこ一 月お

とくし つよのく 乃 摺板をよありぬ 草乃

うえ一 乃馬あまぐらめむとそり一 板田

摺板の あつ みつ とありとくし 板倉一 板中りか 志一 大和くめの志一 共又系つ

とありとくし とありとくし とありとくし とありとくし とありとくし

とありとくし とありとくし とありとくし とありとくし とありとくし

とありとくし とありとくし とありとくし とありとくし とありとくし

とありとくし とありとくし とありとくし とありとくし とありとくし

とありとくし とありとくし とありとくし とありとくし とありとくし

とありとくし とありとくし とありとくし とありとくし とありとくし

とありとくし とありとくし とありとくし とありとくし とありとくし

とありとくし とありとくし とありとくし とありとくし とありとくし

むらり人て小田を又小政くガセふあり越てあはぬ丸るふりり○あう代
ハさうのとトト度まで越えても折や小田をさるふりりなる橋本
ち○こよひしも八十ふりほふもむ月とさうれをしれ上ふみうふ橋本
あ一回あひさうつくる若なる我鹿月くつら五月毎卯とめて比橋のさ
と為生也盡
宇治
山城橋本橋本あひ月五月毎卯あまろ中
よあしと

奥列の三た
奥列の三た
よりよりの黒ヤリ

越前○折そのの孫登て々の水
よりよりの黒ヤリ

久米路

又くめの岩橋大和志橋本ゆる中としましとつくるぬをさう乃契
昔のうたれ月めとなうさうさの神仙人こけ生おなり木本又佐の
うもくめすのたととふあつる○理本本はさうむむとつあれきめ
すの橋はむししゆあ志のくめあのをしのかうたしとこつとを又ま
た志もてぬサツハへうす又大和のく
矢橋
と江也と志のさ
山藜

下し
三河玉柳社若さうふのくもてあやうき○こひさんとむれ
三河れ八をししれくくまゆとれりおはうぶ照ふ八橋

三河玉柳社若さうふのくもてあやうき○こひさんとむれ
三河れ八をししれくくまゆとれりおはうぶ照ふ八橋

のたもてと右るうりさゆくくろふ傷へさるあり一まる三河国よ八
橋とふ所あり橋の八あうくくりてと橋のをしとよつよりうんやうよ
ちうるを打つてうら木とをさてとふよ又蛇とふ虫のみや八あきハ
抱はし三河国ハ橋とふ所ハ三河国ハ橋とふ所ハ三河国ハ橋とふ所ハ

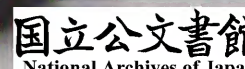
てとあはれめくわり橋ふつさうろとらうとあうとされしそくそとふ
しとともハ橋もさうむらめともねをぬへけさいたしおくりてと云物
あり又ハ橋といふもお付てしてと一りさくくりてはあなりやとつと

むたよりあきさうやうふうけかたるしあのくそしなうとあささとう
子うささうふしそれとうくわりおまよきとえもてまあおといりお
つし又必しと橋ハ八なくせあまうつとらうりまた一たらハおやう
教子付てハ橋といふもあてんろれお付てあれくそしなうとあささとう

橋よくりてなぐるまろろ水のくりてしてとらうとあささとう
しとともハ橋といふもあてんろれお付てあれくそしなうとあささとう
此よりつきくけけけしととつし後撰括逸の八橋の考はひまを学へ
終とてしよりいせ物流るも志のふのそくろくさうあつとて書て
んみりのくのしれおをらすとれゆらうとま方のゆくとらうと書てわり

ぬれ元ハ源系左右の泳くつととあつとわと三河の八橋のくそくの
うとやい勢物うと日何のうたえそさへうと後撰括逸のうらわら
ふむは八をのくもておああやうとせし今ふらりまた一
りつとてつとらうらうらうもあかぬつし又すりりへとらあ後し

くらすせとぬへし後撰括逸のほとれ松の志つとなくもてとらうと
たつらあまのりおとて是ハ松れつとととてとあきハさうらうとむ



らまより或正橋みくとしてとら橋ねや八と一しよあそしりびくしてし扱
 うりぼしたれら八橋とふ付てくとしてといいつくくとし待た抄云三
 海の八橋はそらりの八あれい端の是の八あつりしよあそしてし扱
 せよ抄云りこととそりめをなくとえちりしよあそしてし扱
 よそへてし扱 **志間継一** 下総のあのとせをゆん約とらうつとら
 けりやとらし **志野継一** 扱及とらし
 よりんまおみし戸と共又の若の戸とせみし **志野継一** 扱及とらし
 やろれ扱の戸とせなとらしりあ五月あ **志野継一** 扱及とらし
 五月あ **志野継一** 扱及とらし

松鴻一 奥羽 扱及 **田本一** 扱及 **布苗一** 大和又
 一五月あ **松鴻一** 扱及 **田本一** 扱及 **布苗一** 大和又
 一五月あ **松鴻一** 扱及 **田本一** 扱及 **布苗一** 大和又
 一五月あ **松鴻一** 扱及 **田本一** 扱及 **布苗一** 大和又

あれせ乃らあ **あせいせ一** 城 **天一** 丹後
 一五月あ **あせいせ一** 城 **天一** 丹後
 一五月あ **あせいせ一** 城 **天一** 丹後
 一五月あ **あせいせ一** 城 **天一** 丹後

あさひ 越前 **あさひ** 越前
 一五月あ **あさひ** 越前 **あさひ** 越前
 一五月あ **あさひ** 越前 **あさひ** 越前
 一五月あ **あさひ** 越前 **あさひ** 越前

あさひ 越前 **あさひ** 越前
 一五月あ **あさひ** 越前 **あさひ** 越前
 一五月あ **あさひ** 越前 **あさひ** 越前
 一五月あ **あさひ** 越前 **あさひ** 越前

あさひ 越前 **あさひ** 越前
 一五月あ **あさひ** 越前 **あさひ** 越前
 一五月あ **あさひ** 越前 **あさひ** 越前
 一五月あ **あさひ** 越前 **あさひ** 越前

あさひ 越前 **あさひ** 越前
 一五月あ **あさひ** 越前 **あさひ** 越前
 一五月あ **あさひ** 越前 **あさひ** 越前
 一五月あ **あさひ** 越前 **あさひ** 越前

あさひ 越前 **あさひ** 越前
 一五月あ **あさひ** 越前 **あさひ** 越前
 一五月あ **あさひ** 越前 **あさひ** 越前
 一五月あ **あさひ** 越前 **あさひ** 越前

あさひ 越前 **あさひ** 越前
 一五月あ **あさひ** 越前 **あさひ** 越前
 一五月あ **あさひ** 越前 **あさひ** 越前
 一五月あ **あさひ** 越前 **あさひ** 越前

あさひ 越前 **あさひ** 越前
 一五月あ **あさひ** 越前 **あさひ** 越前
 一五月あ **あさひ** 越前 **あさひ** 越前
 一五月あ **あさひ** 越前 **あさひ** 越前

